



Fiscal Year

2022年3月期 決算説明会

NOK 株式会社（東証プライム 7240）

2022年5月12日





- ◆ 本資料に記載された、NOK株式会社およびグループ各社の計画、見通し、方針、戦略、意見などのうち、歴史的事実ではないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた内容に基づいて作成しております。実際の業績に影響を与え得る要素には、事業領域を取り巻く経済情勢、市況、為替の動向など、潜在的リスクや不確実性があるものを含んでおります。そのため、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ◆ 本資料に掲載されたコンテンツの正確性については、万全を期しておりますが、その内容に関してはいかなる保証もするものではなく、万一、これにより貴方に損害が生じても一切責任を負いかねます。また、本資料の著作権は、NOK株式会社に帰属しており、無断転載・複製することとはご遠慮ください。



進行順序

(予定)		
1	オリエンテーション (事務局)	17 : 00～
2	2022年3月期 決算実績 ならびに 2023年3月期 決算見通し 配当について 中期経営計画、リバイバル2カ年計画、2022年3月期 トピックス (代表取締役社長 鶴 正雄)	17 : 00～17 : 10
3	2022年3月期 セグメント別決算実績 2023年3月期 セグメント別決算見通し 業種別・所在地別事業概況 (2022年3月期実績 ならびに 2023年3月期見通し) (専務取締役 渡邊 哲)	17 : 10～17 : 30
4	質疑応答	17 : 30～18 : 00

—お願い—

1. 質問はWEB配信システム上のチャットにて随時お受けいたします。
2. 時間の都合上、全ての質問にお答えできかねる場合がございます。

決算概要



当社グループの事業動向

シール 事業

自動車向けは、半導体等の部品供給不足や東南アジア地域での新型コロナウイルス感染拡大はあったものの需要の回復幅が大きく、販売は増加。一般産業機械向けも、建設機械、工作機械、ロボット等の市場が好調を維持し、販売は増加。営業利益は、材料費の高騰、人件費・経費の増加があったものの、増収により増益。

電子部品 事業

半導体等の部品供給不足による減産の影響が一部にあるものの、需要の回復により、高機能スマートフォン向け、ハードディスクドライブの販売が増加。自動車向けは、需要の回復に加え、電動車向け製品の拡販により販売が増加。営業損失は、人件費・経費の増加があったものの、販売の増加により、営業損失幅が改善。

その他 事業

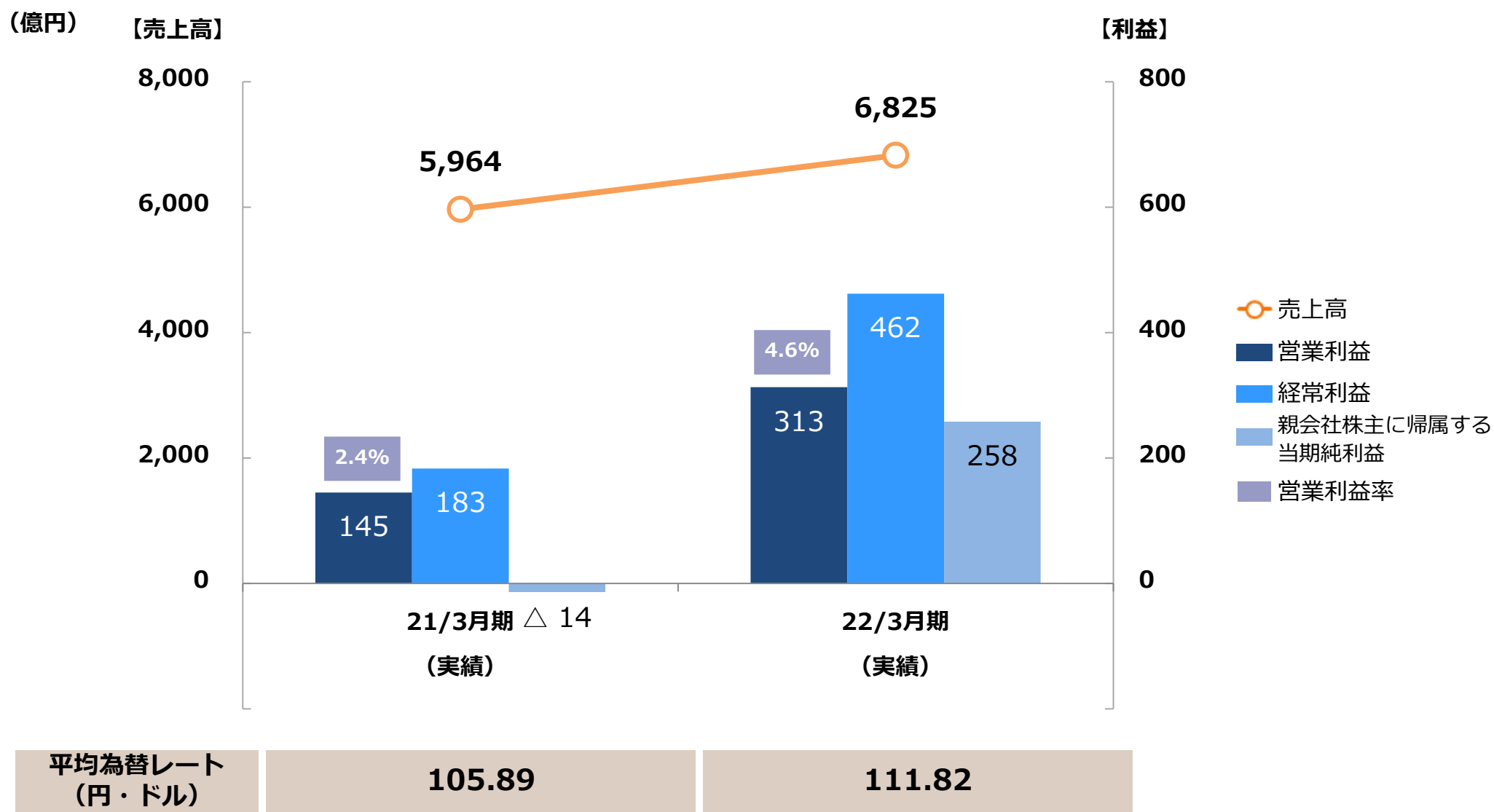
ロール事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた複合機および補修用部品の需要が回復傾向にあり、販売が増加。特殊潤滑剤事業も、一般産業機械向け等の需要の好調により、販売は増加。営業利益は、増収により増益。



2022年3月期 決算実績

(億円)	21/3月期 実績 通期	22/3月期 実績 通期	前期対比 増減	
			金額	率
売上高	5,964	6,825	861	14.4%
営業利益	145	313	169	116.6%
経常利益	183	462	278	151.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 14	258	272	—
営業利益率	2.4%	4.6%	2.2pt	—
設備投資額	257	410	153	—
減価償却費	407	426	19	—
平均為替レート (円/ドル)	105.89	111.82	—	—
従業員数 (人)	37,999	37,613	△ 386	—

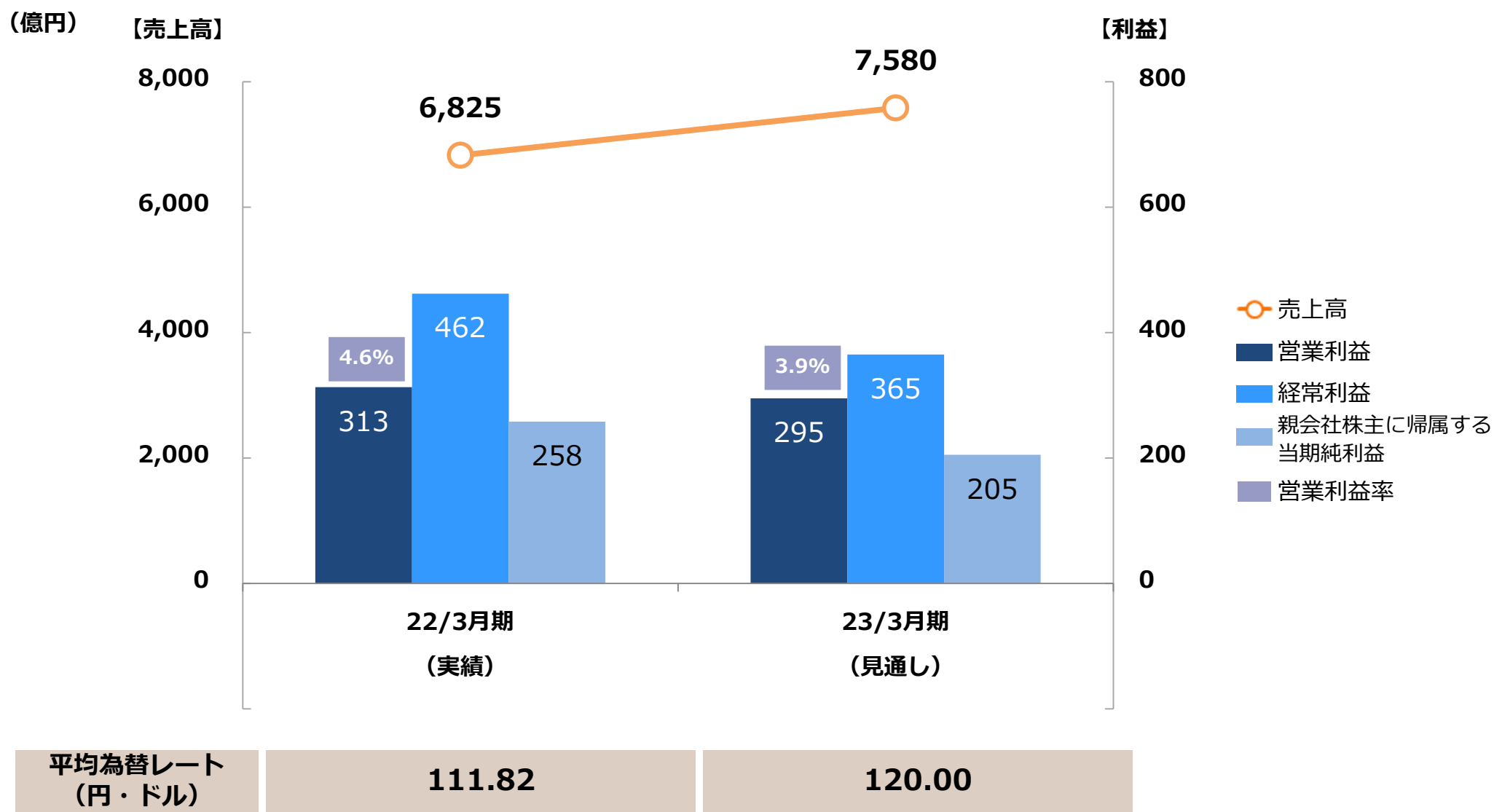
2022年3月期 決算実績



2023年3月期 決算見通し

(億円)	22/3月期 実績 通期	23/3月期 見通し		前期対比 増減	
		上期	通期	金額	率
売上高	6,825	3,690	7,580	755	11.1%
営業利益	313	115	295	△ 18	△ 5.9%
経常利益	462	145	365	△ 97	△ 20.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	258	80	205	△ 53	△ 20.7%
営業利益率	4.6%	3.1%	3.9%	△ 0.7pt	—
設備投資額	410	319	643	233	—
減価償却費	426	219	446	20	—
平均為替レート (円/ドル)	111.82	120.00	120.00	—	—
従業員数 (人)	37,613	38,686	38,620	1,007	—

2023年3月期 決算見通し





配当について

2022年3月期の期末配当につきましては、普通配当25円に加えて、80周年記念配当10円の計35円を予定しております。これにより、既にお支払いしております中間配当25円と合わせて年間配当金額は60円となる予定です。

2021年3月期

年間配当

25円

配当性向

- %

2022年3月期

年間配当

60円

配当性向

40.2%

(普通配当 50円 + 記念配当 10円)

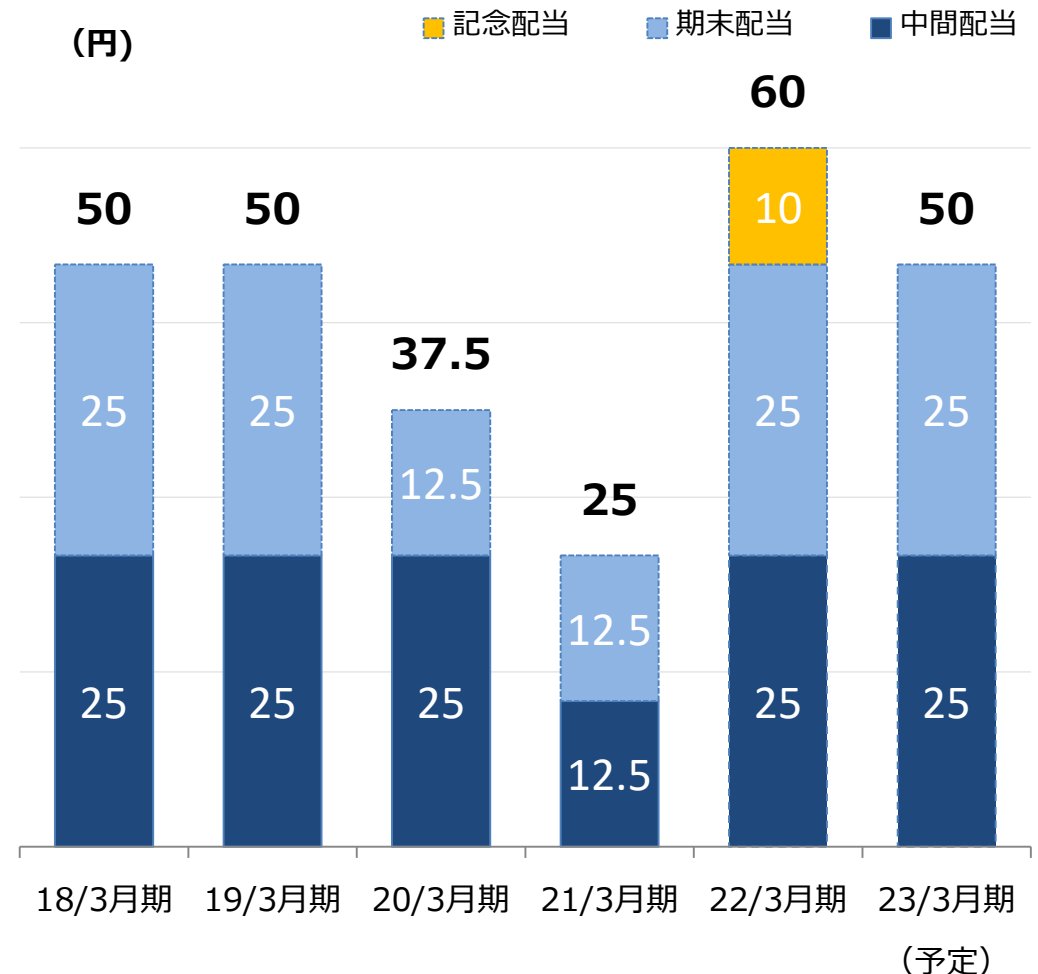
2023年3月期 (予定)

年間配当

50円

配当性向

42.2%



中期経営計画





3カ年計画（2021年3月期～2023年3月期）

3カ年計画（2021年3月期～2023年3月期）

スローガン

『変化への柔軟な対応と“持続性ある企業”への再挑戦』



方針

1. 特定顧客依存からの脱却 - 拡販と新事業の創出による拡大均衡
2. 品質の原点回帰
3. 実効性あるB C Mの運用
4. 競争力向上、収益改善に繋がる業務のデジタル化推進
5. 人間尊重経営の実践 - 活力に溢れた人づくり、柔軟・多様な働き方の導入

リバイバル2カ年計画

2022年3月期、2023年3月期を対象とした「リバイバル2カ年計画」を推進しています。また、“あるべき姿”として企業の総合的収益力を表すRoA(総資産純利益率)を体質強化指標として導入し、5%以上を維持できる体質を目指します。

(億円)	22/3月期			23/3月期		
	目標値	実績	増減	目標値	見通し	増減
売上高	6,240	6,825	585	6,400	7,580	1,180
営業利益	225	313	88	330	295	△ 35
経常利益	272	462	190	380	365	△ 15
親会社株主に帰属する 当期純利益	144	258	114	220	205	△ 15
営業利益率	3.6%	4.6%	1.0pt	5.2%	3.9%	△1.3pt
自己資本比率	58.5%	58.6%	0.0pt	58.9%	58.0%	△0.9pt
ROA	1.6%	3.1%	1.5pt	2.6%	2.4%	△0.3pt
ROE	2.8%	5.4%	2.6pt	4.5%	4.0%	△0.5pt

将来の受注を見越し、各地で生産能力増強投資を実施

シール事業では、中国吉林省長春にある工場を同地区内の工業団地に移転・拡大しました。欧米カーメーカーや中華系カーメーカーへの供給を強化します。

また、ベトナムでは好調な自動車向け受注の拡大を受け、既存工場内にOリングの建屋を増設しました。

電子部品事業では、販売が拡大しつつある電気自動車バッテリー用FPCの生産スペース拡張のため、蘇州にある工場内に新工場棟を建設中です。2022年秋に完成、年内に稼働開始予定です。

長春恩福油封有限公司(6月30日竣工予定)



VIETNAM NOK CO.,LTD.(5月30日竣工予定)



蘇州紫翔電子科技有限公司(10月竣工予定)



2022年3月期 セグメント別決算実績

※2022年3月期より、ロール事業はその他事業に含めた形での開示とさせていただきます

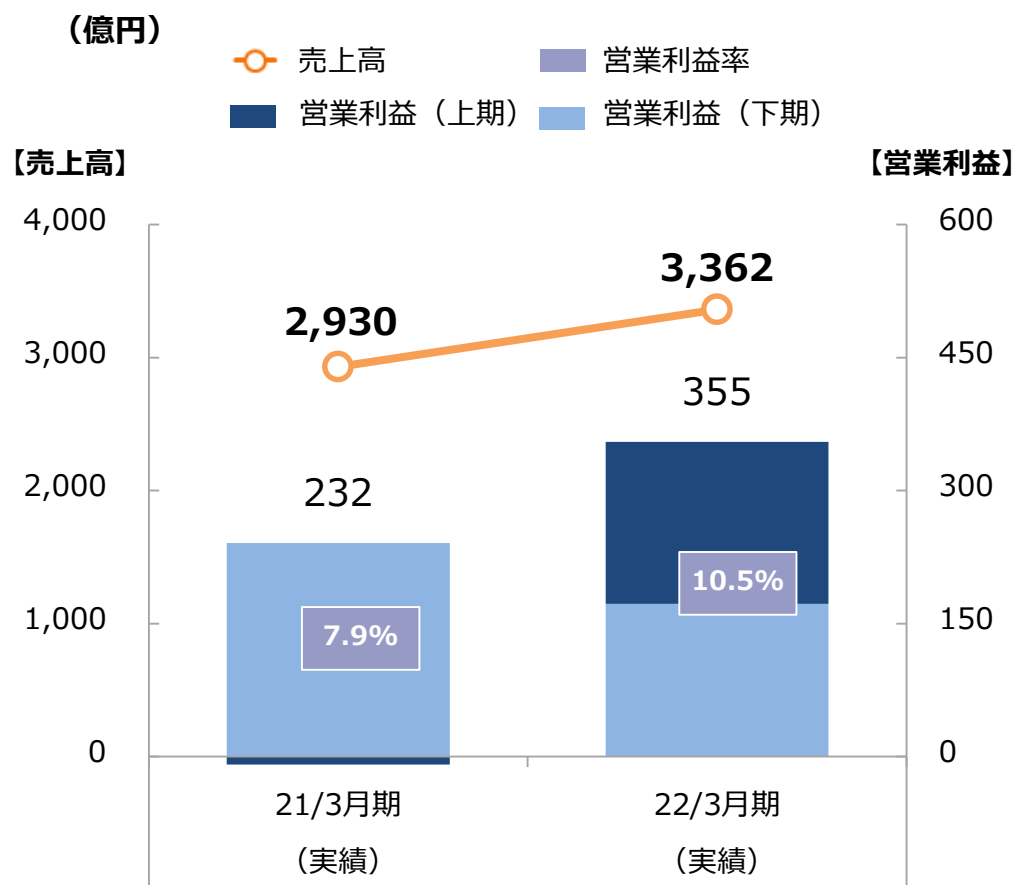


2022年3月期 セグメント別決算実績

(億円)		21/3月期 実績 通期	22/3月期 実績 通期	前期対比 増減	
				金額	率
シール事業	売上高	2,930	3,362	432	14.7%
	営業利益	232	355	123	53.0%
電子部品事業	売上高	2,818	3,209	392	13.9%
	営業利益	△ 84	△ 50	33	—
その他事業	売上高	216	254	38	17.6%
	営業利益	△ 4	9	13	—
合計	売上高	5,964	6,825	861	14.4%
	営業利益	145	313	169	116.6%

※（参考）その他事業のうち、ロール事業の2022年3月期の通期実績は次の通りです 【売上高：169億円、営業利益：△5億円】

シール事業：決算実績【前期対比】



22/3月期 通期 実績

売上高 3,362億円 （前期比 +432億円）

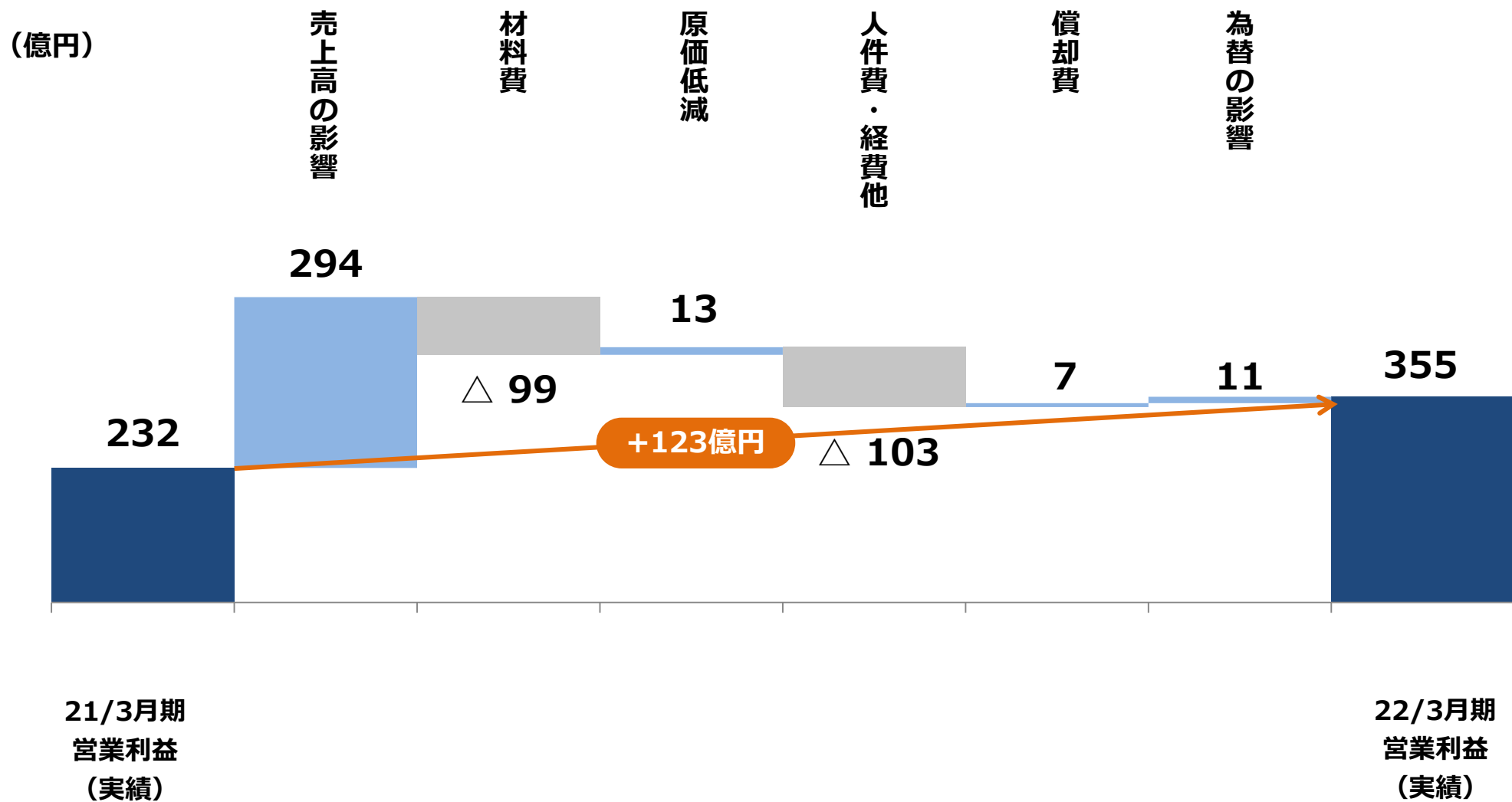
- ↗ 自動車向けの販売が回復
- ↗ 建設機械向けの販売が増加

営業利益 355億円 （前期比 +123億円）

- ↗ 販売の増加
- ↘ 人件費・経費の増加
- ↘ 材料費の高騰

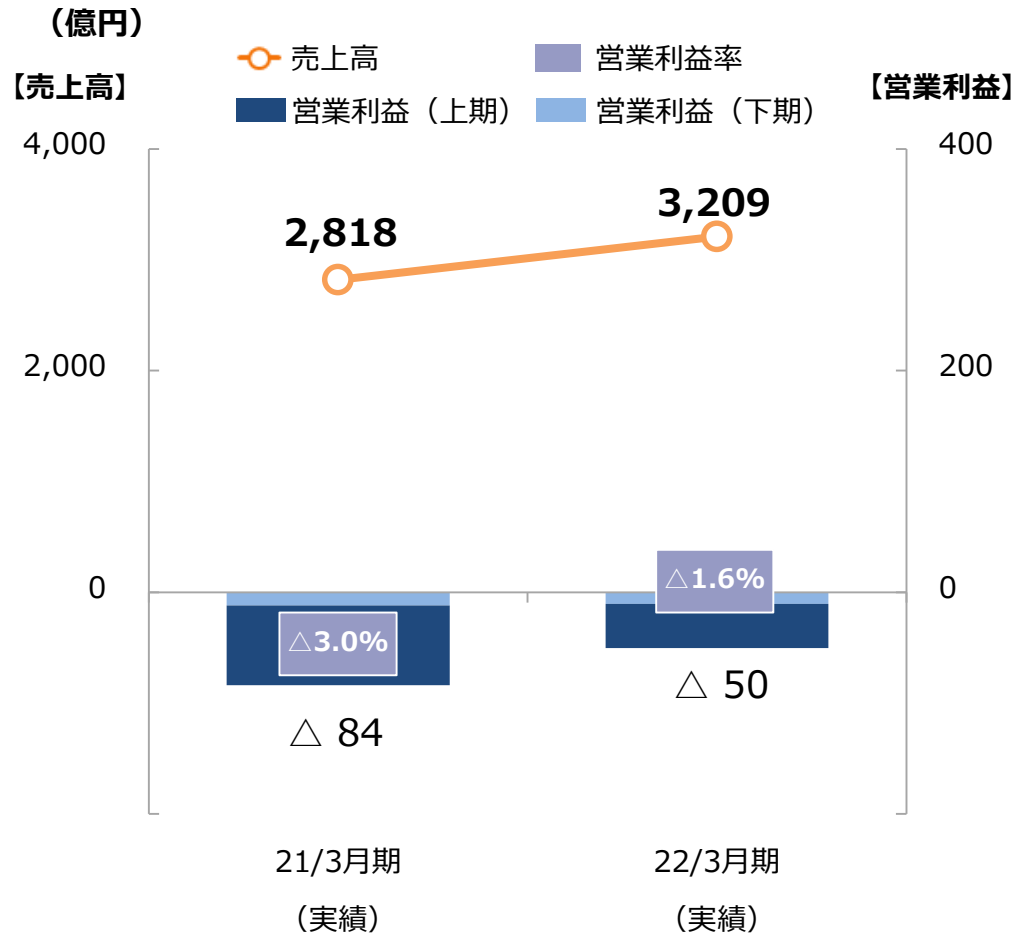
設備投資	137	193
減価償却	239	236
従業員数	21,120人	20,996人

シール事業：営業利益増減分析【前期対比】





電子部品事業：決算実績【前期対比】



22/3月期 通期 実績

売上高 3,209億円 （前期比 +392億円）

- 高機能スマートフォン向けの販売が増加
- ハードディスクドライブの販売が増加
- 自動車向けの販売が増加

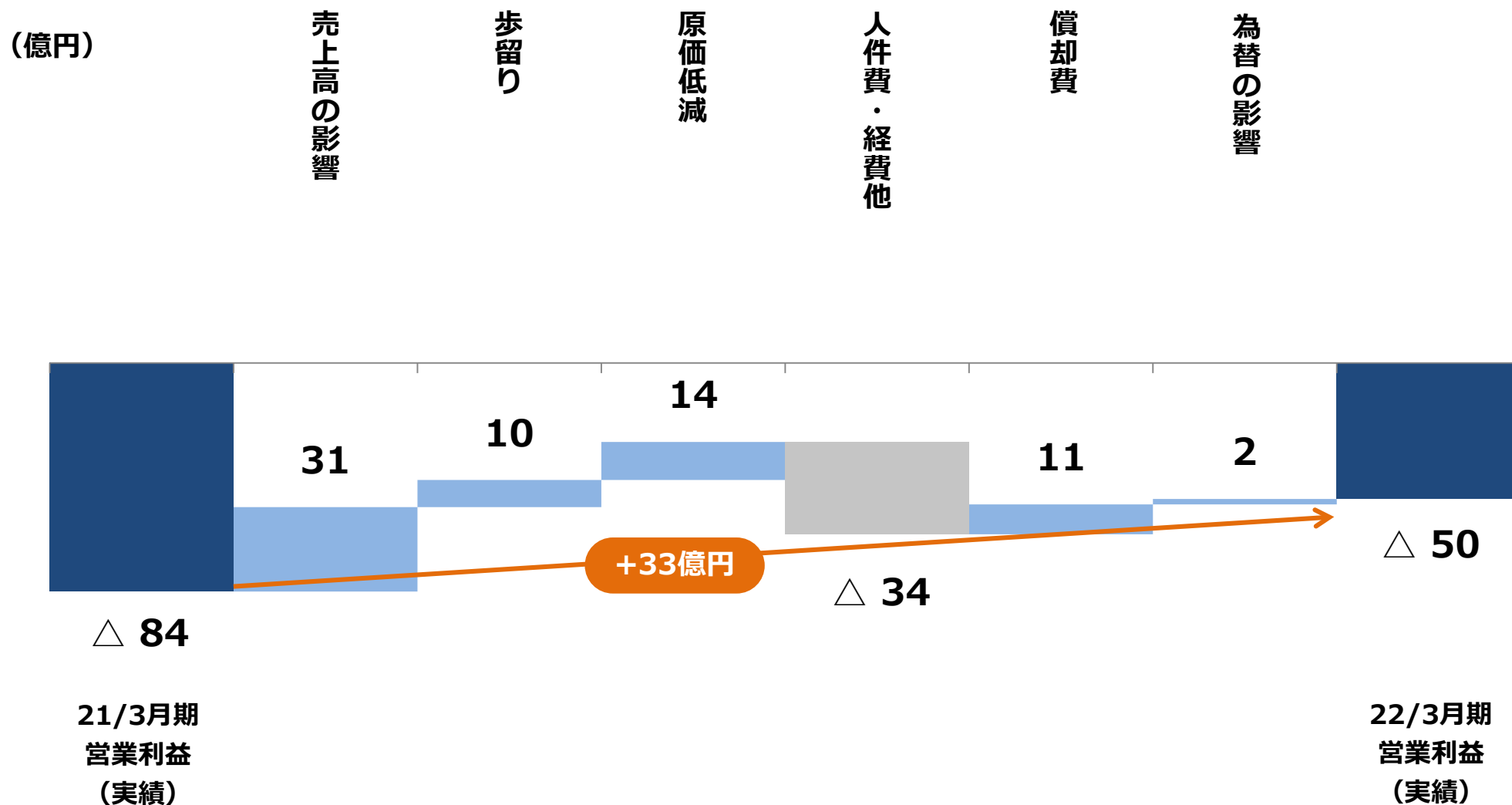
営業利益 △50億円 （前期比 +33億円）

- 販売の増加
- 人件費・経費の増加

設備投資	114	204
減価償却	157	180
従業員数	14,910人	14,548人



電子部品事業：営業利益増減分析【前期対比】



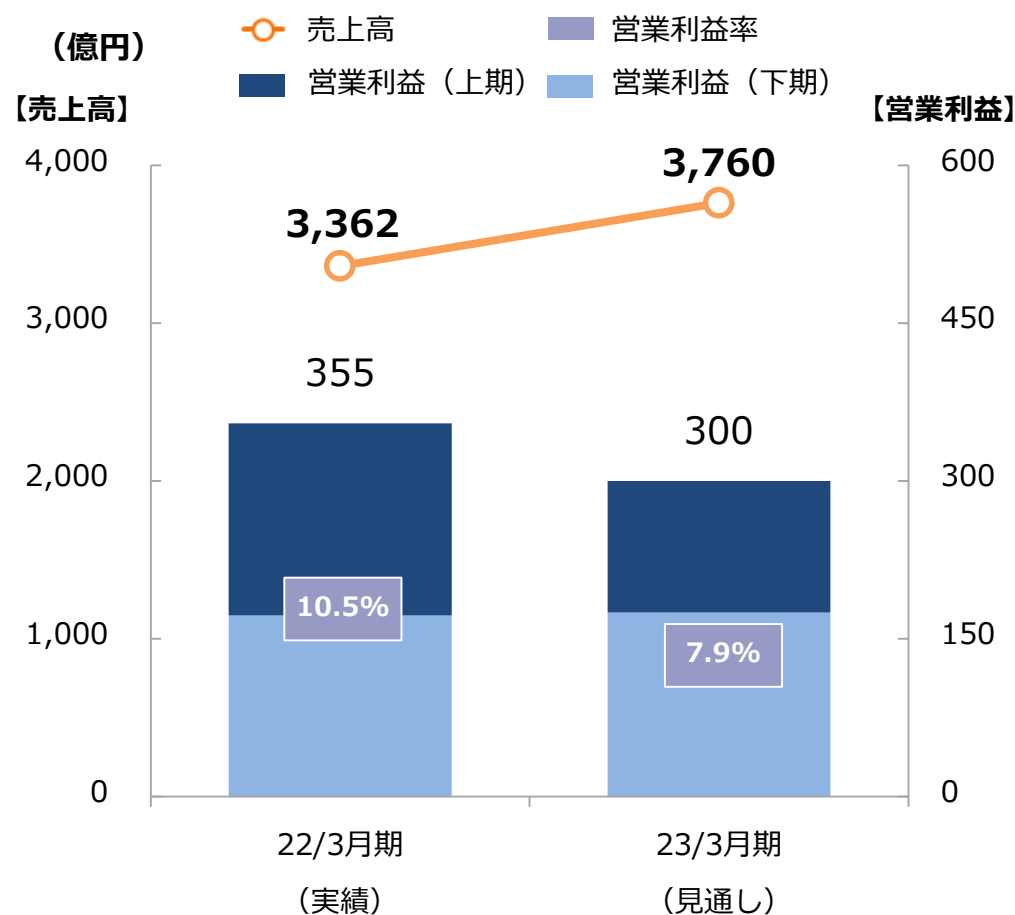
2023年3月期 セグメント別決算見通し



2023年3月期 セグメント別決算見通し

(億円)		22/3月期 実績 通期	23/3月期 見通し		前期対比 増減	
			上期	通期	金額	率
シール事業	売上高	3,362	1,830	3,760	398	11.8%
	営業利益	355	125	300	△ 55	△15.5%
電子部品事業	売上高	3,209	1,727	3,554	345	10.7%
	営業利益	△ 50	△ 17	△ 15	35	—
その他事業	売上高	254	133	266	12	4.8%
	営業利益	9	7	10	1	11.9%
合計	売上高	6,825	3,690	7,580	755	11.1%
	営業利益	313	115	295	△ 18	△5.9%

シール事業：決算見通し【前期対比】



23/3月期 通期 見通し

売上高 3,760億円 (前期比 +398億円)

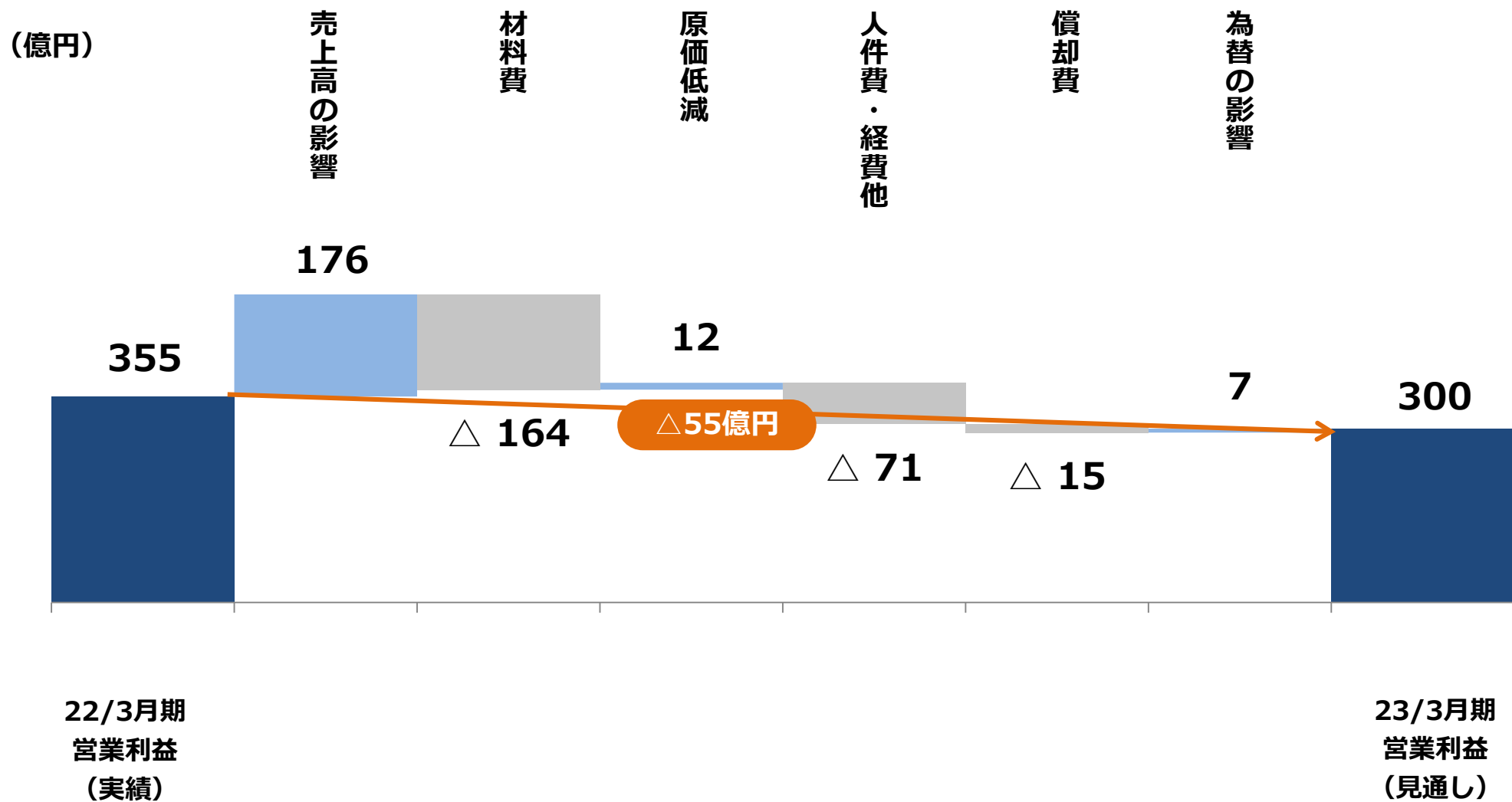
- ↗ 自動車向けの販売が増加
- ↗ 建設機械向けの販売が増加

営業利益 300億円 (前期比 △55億円)

- ↗ 販売の増加
- ↘ 材料費の高騰
- ↘ 人件費・経費の増加

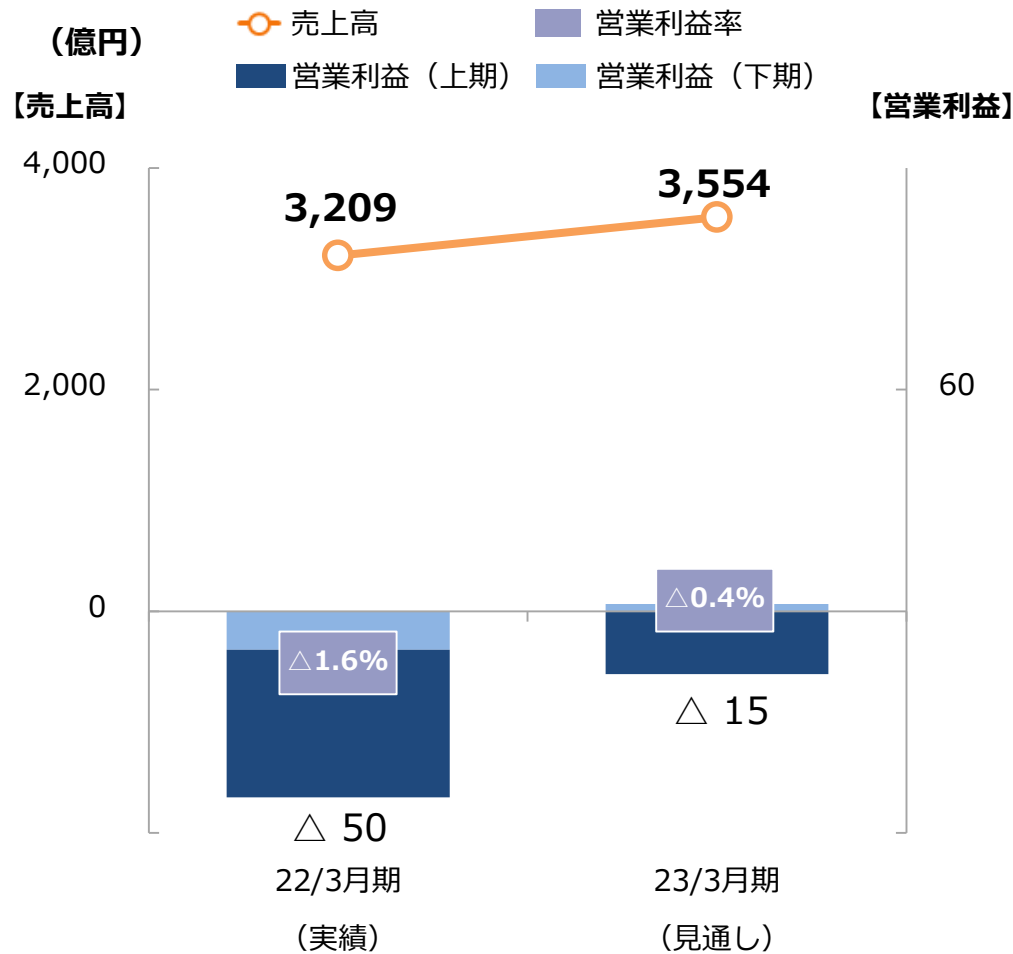
設備投資	193	299
減価償却	236	250
従業員数	20,996人	21,442人

シール事業：営業利益増減分析【前期対比】





電子部品事業：決算見通し【前期対比】



23/3月期 通期 見通し

売上高 3,554億円 (前期比 +345億円)

- 自動車向けの販売が増加
- 高性能スマートフォン向けの販売が増加

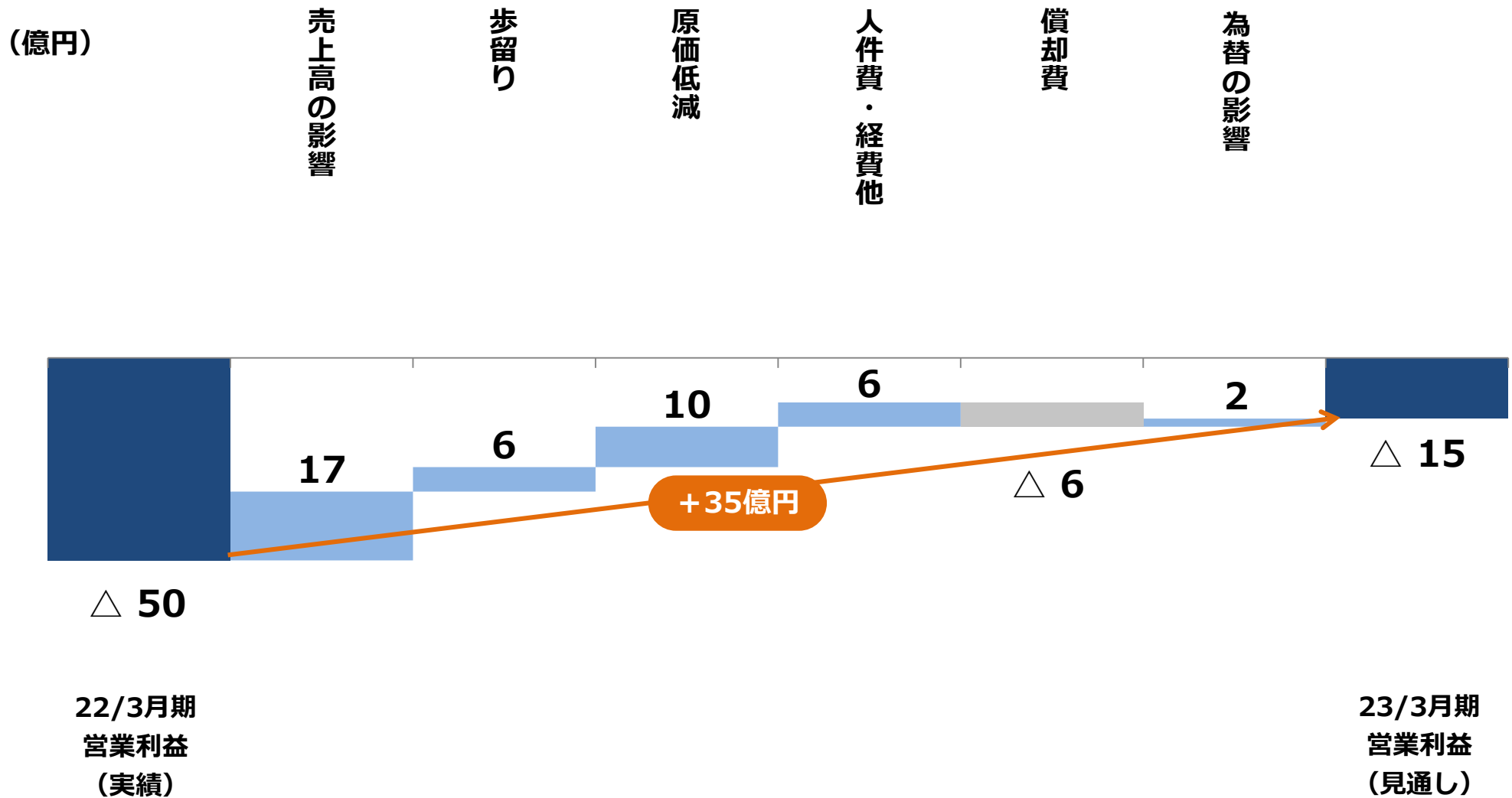
営業利益 △15億円 (前期比 +35億円)

- 販売の増加
- 原価低減、歩留まり改善の効果

設備投資	204	328
減価償却	180	185
従業員数	14,548人	15,020人



電子部品事業：営業利益増減分析【前期対比】



業種別・所在地別事業概況



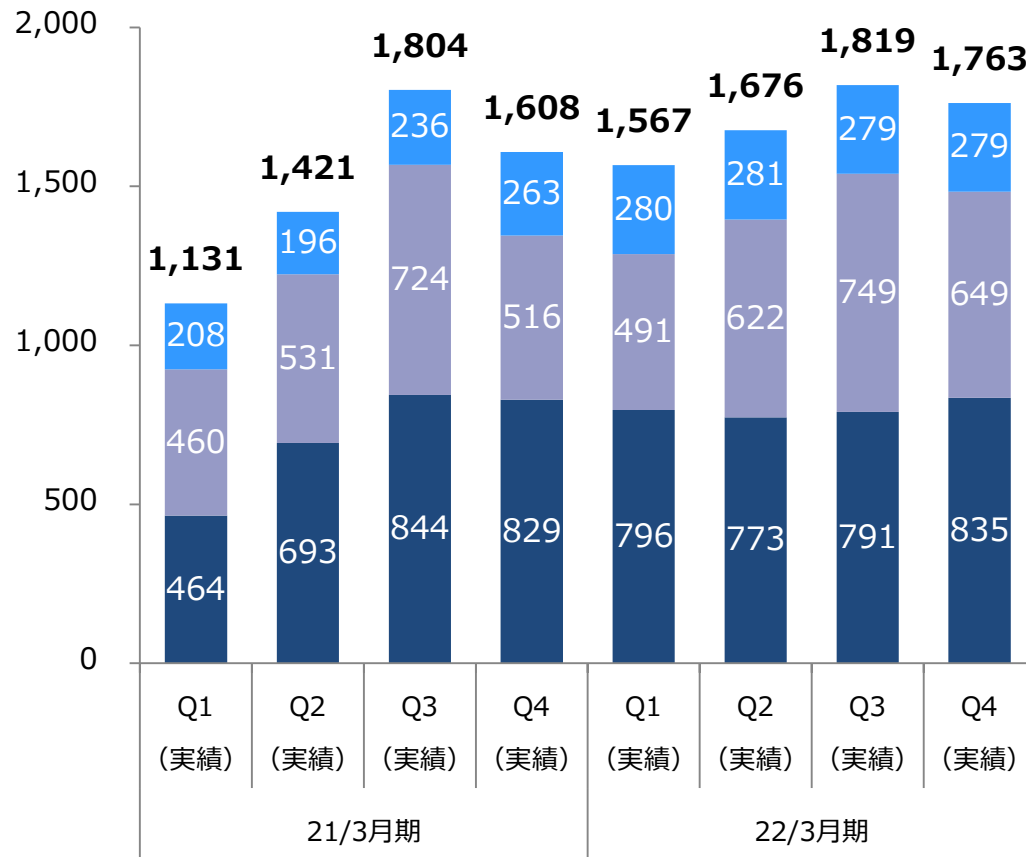


業種別：連結売上高推移

■ 自動車（AI） ■ 電子機器（EI） ■ 一般産業機器（GI）

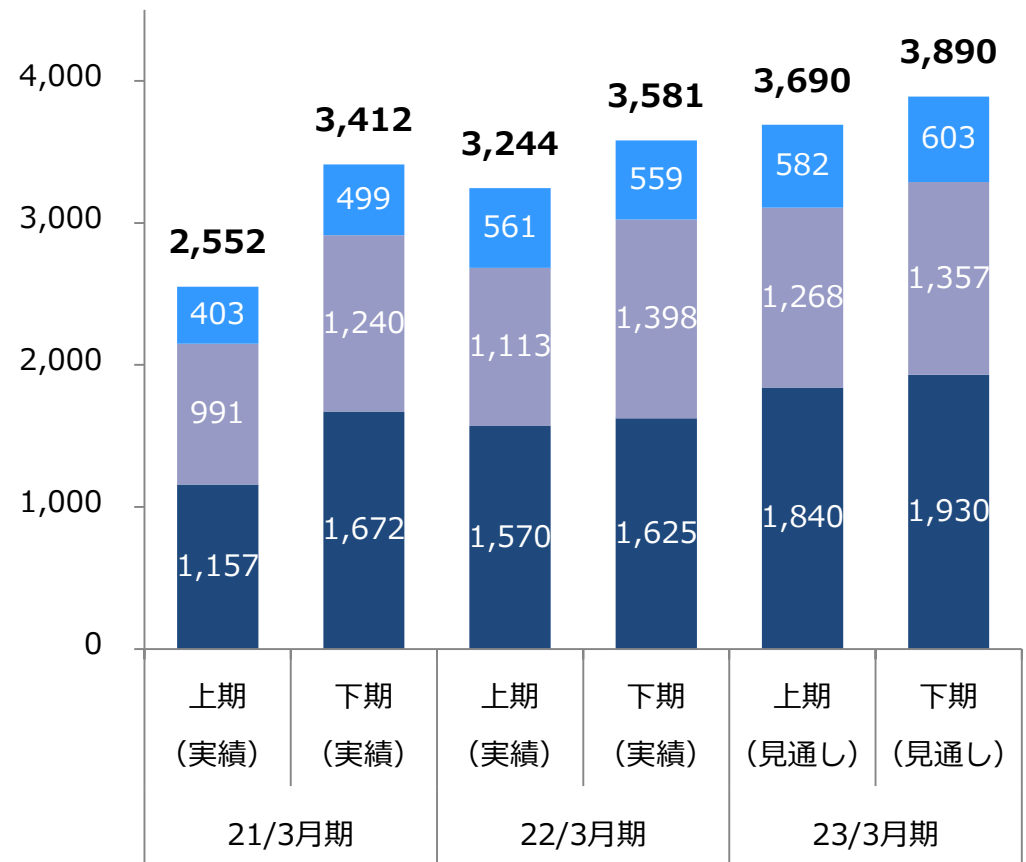
（億円）

<四半期>



（億円）

<半期>



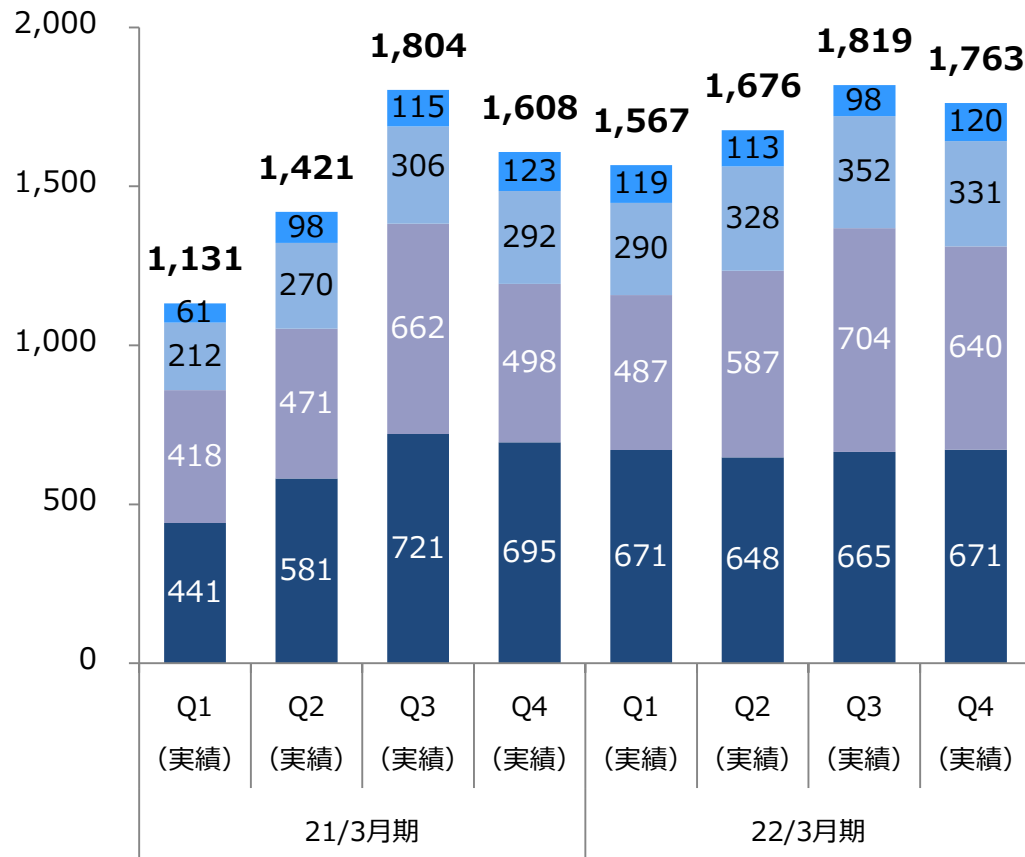


所在地別：連結売上高推移

■ 日本 ■ 中国 ■ 他アジア ■ その他

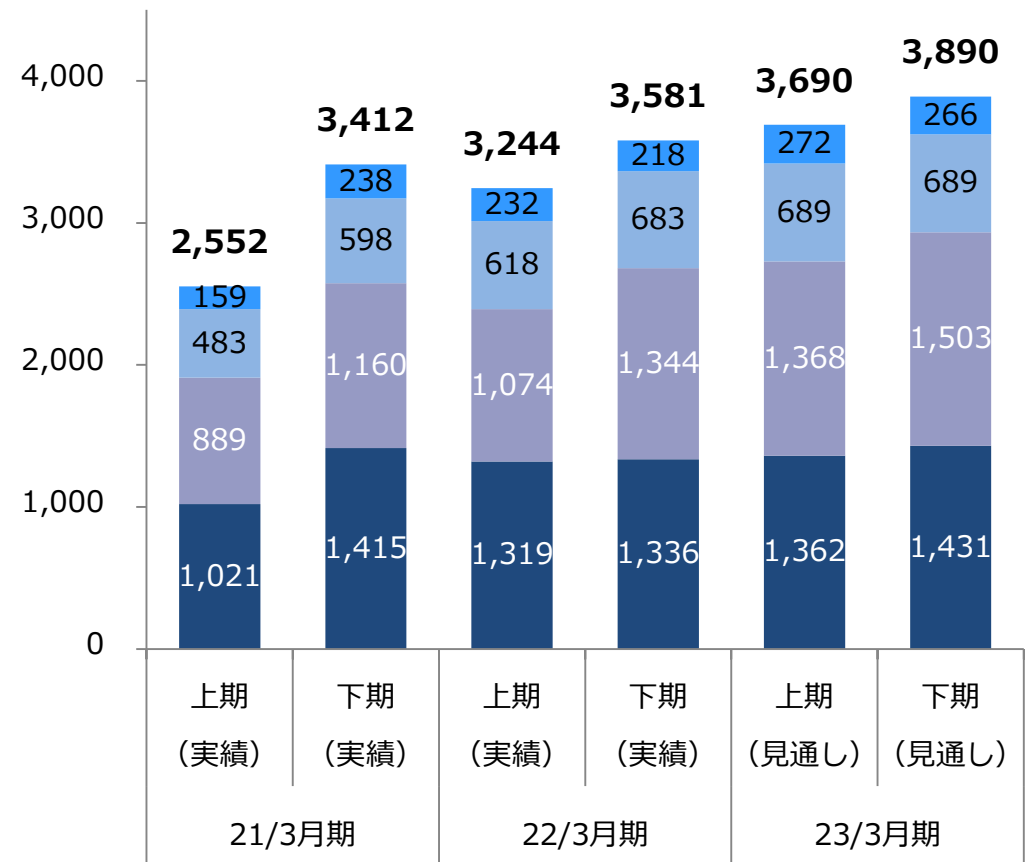
(億円)

<四半期>



(億円)

<半期>



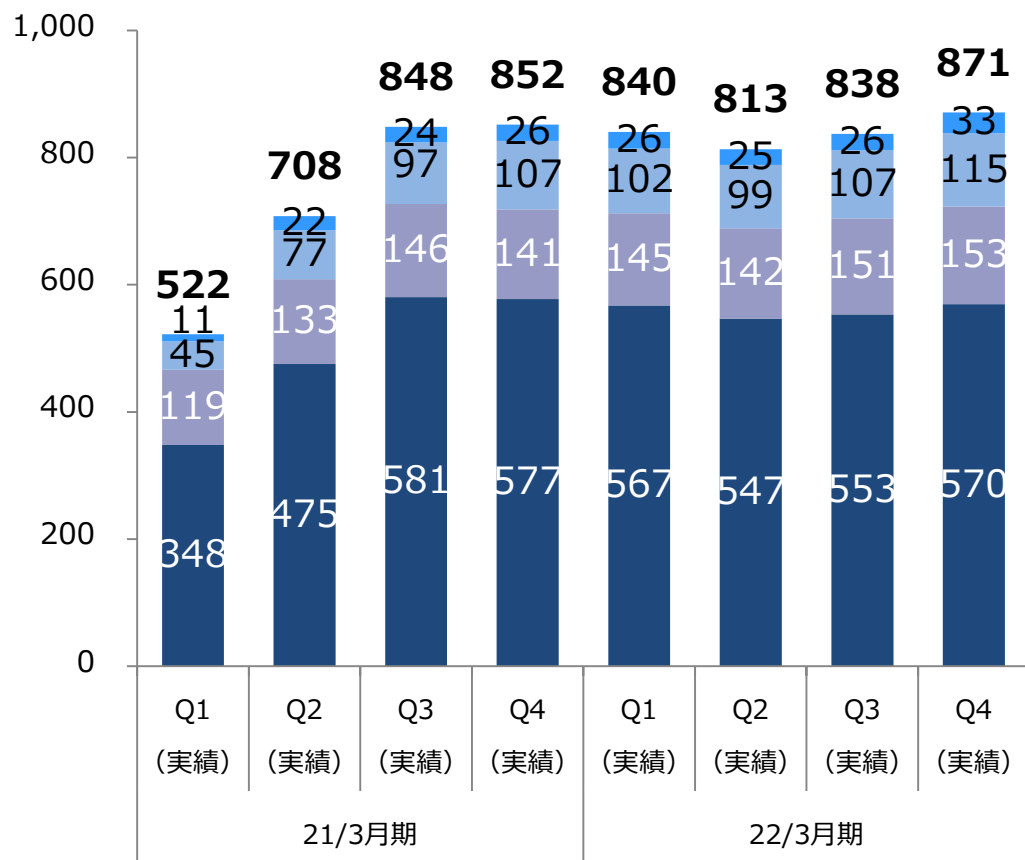


所在地別：シール事業売上高推移

■ 日本 ■ 中国 ■ 他アジア ■ その他

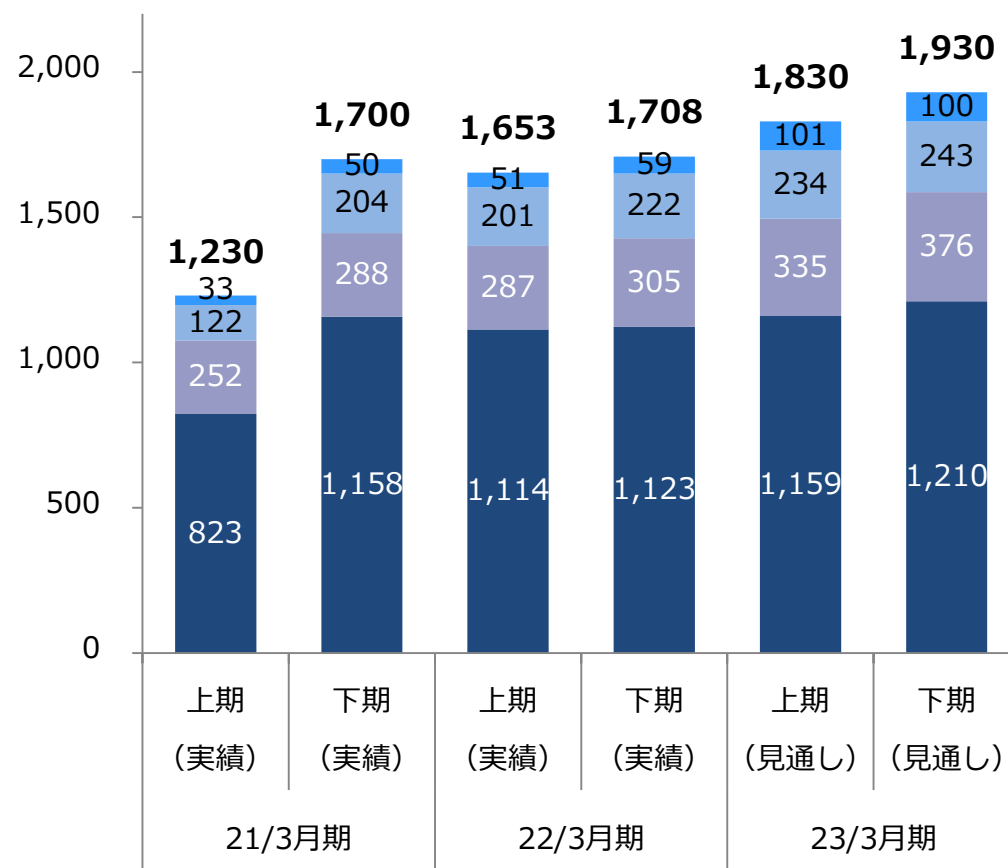
(億円)

<四半期>



(億円)

<半期>



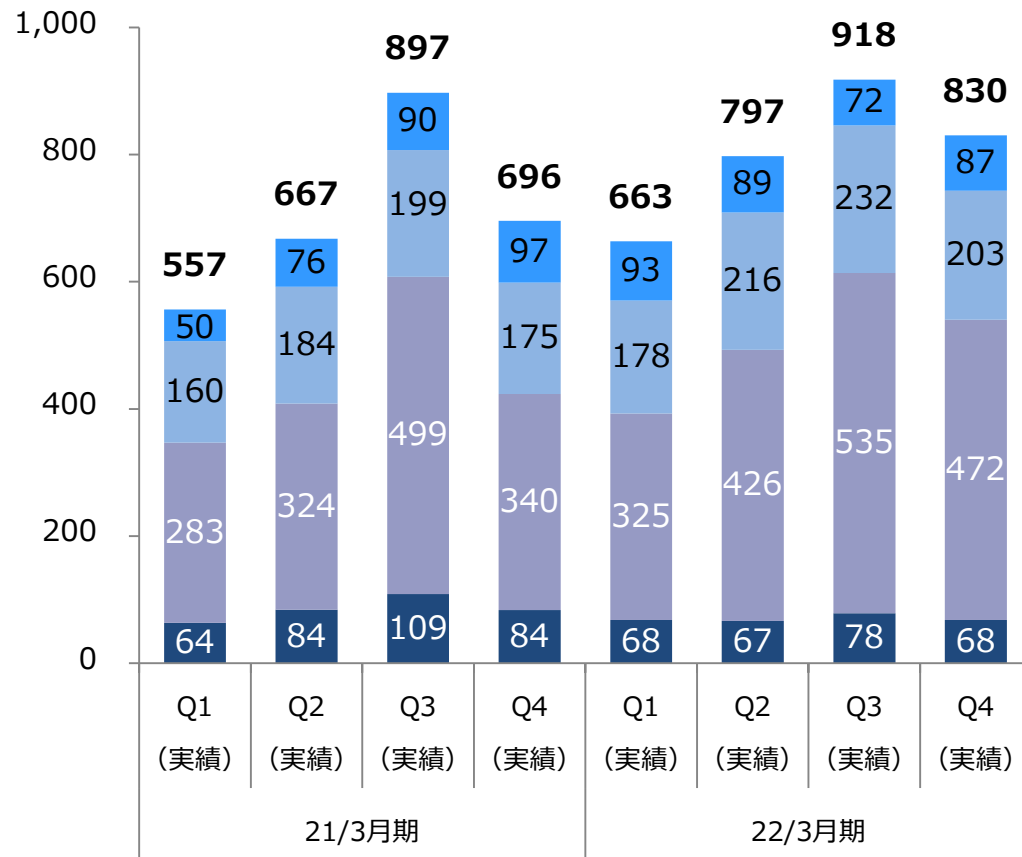


所在地別：電子部品事業売上高推移

■ 日本 ■ 中国 ■ 他アジア ■ その他

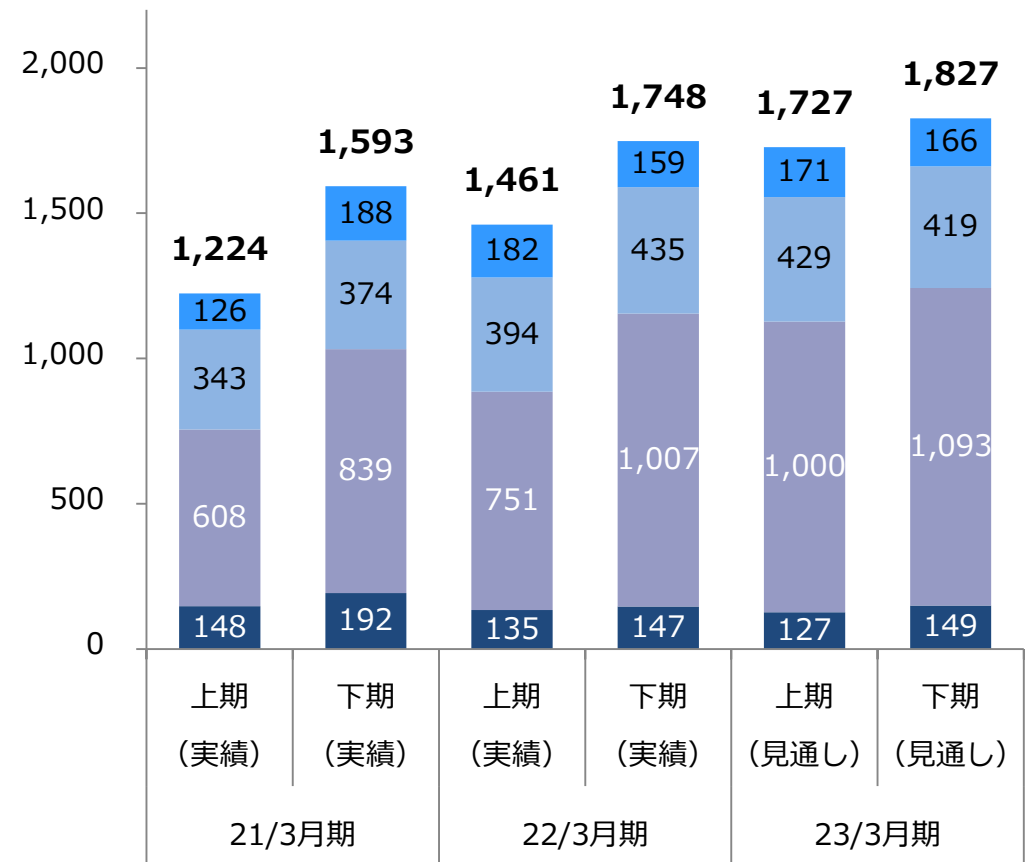
(億円)

<四半期>



(億円)

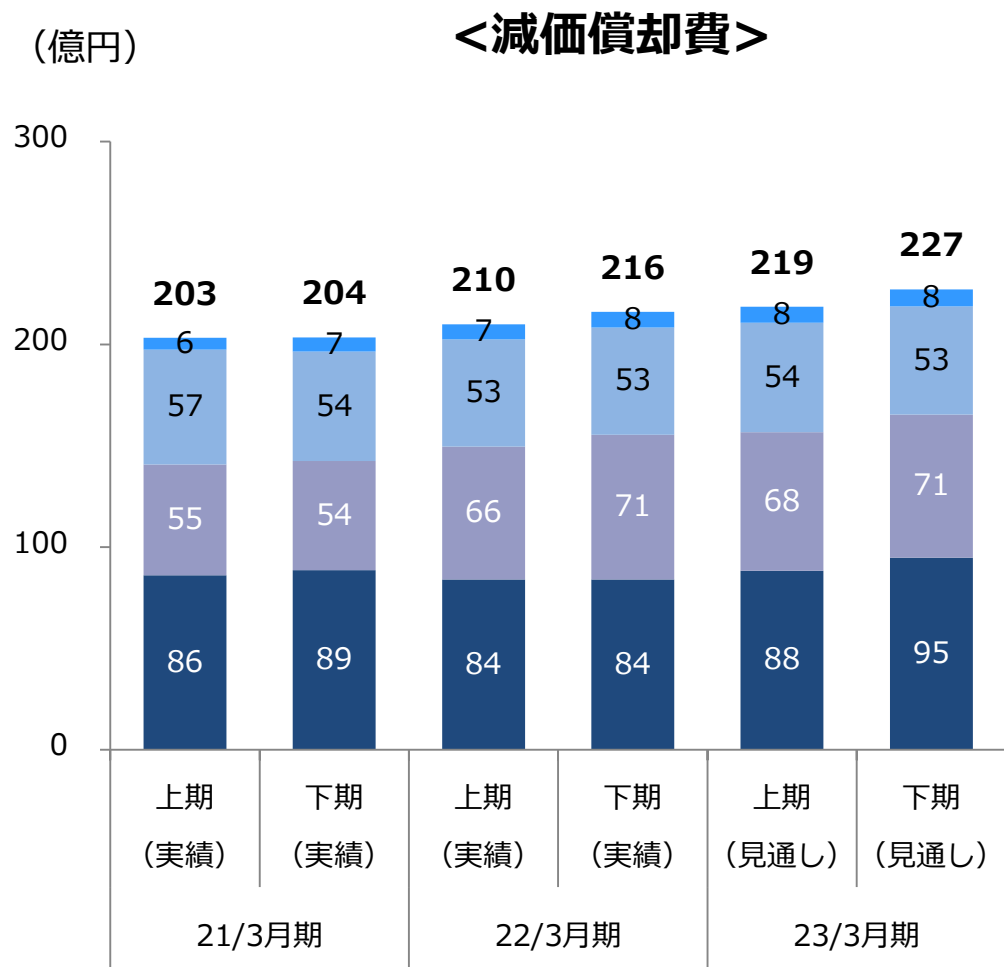
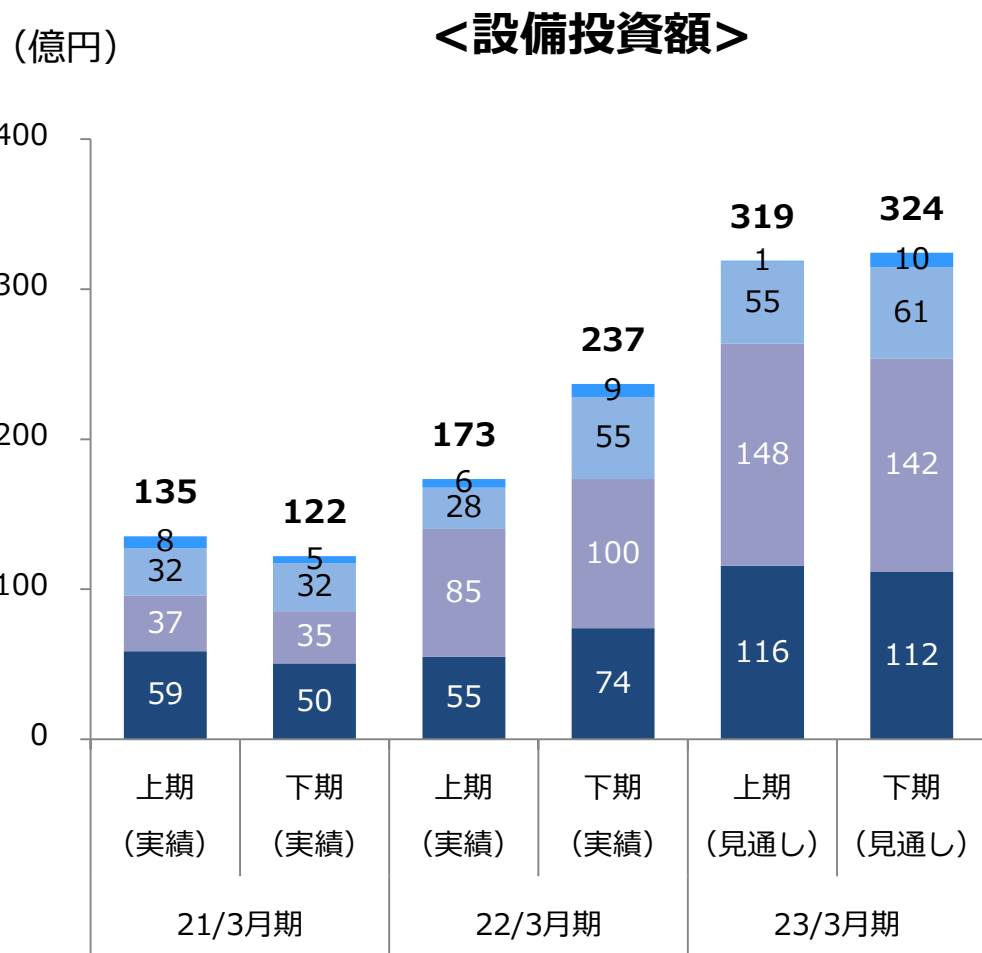
<半期>





所在地別：設備投資額および減価償却費推移

■ 日本 ■ 中国 ■ 他アジア ■ 欧米



※「下期（見通し）」は、通期見通しから上期見通しを引いたものです

※ 設備投資には無形固定資産の取得を含んでいます

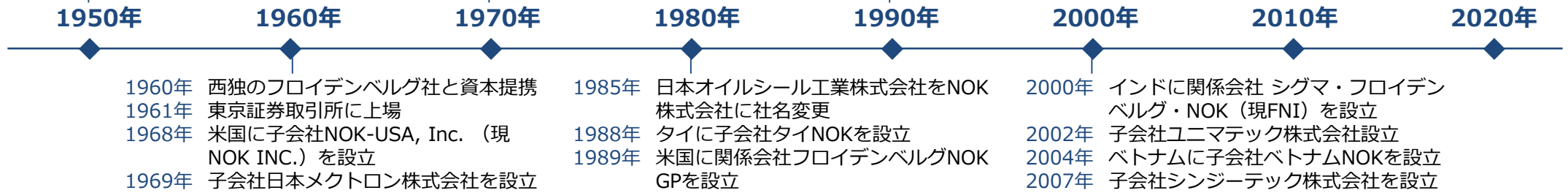
参考資料



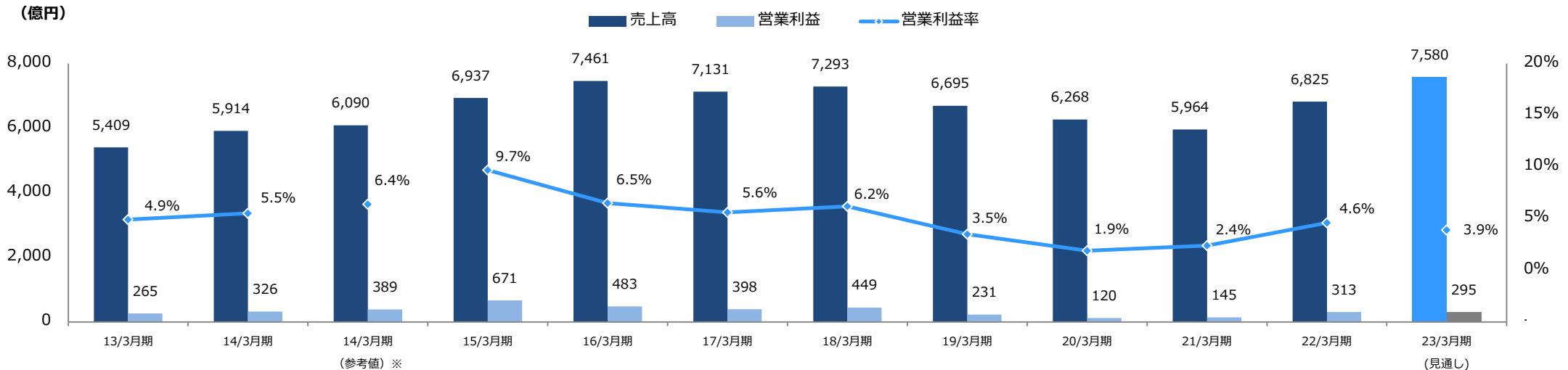
1939年 江戸川精機株式会社設立
1941年 神戸に日本ベアリング製造株式会社を設立
1951年 東京オイルシール工業株式会社と日本油止工業株式会社が合併し、日本オイルシール工業株式会社に社名変更

1976年 子会社NOKクリューバー株式会社を設立
1978年 韓国の平和オイルシール工業株式会社に資本参加

1995年 中国に子会社無錫恩福油封有限公司を設立
1996年 インドネシアに子会社NOKインドネシア、シンガポールに子会社NOKアジアを設立



直近10年間の売上高および営業利益推移



※15/3月期より、海外事業の決算期統一及び減価償却方法を変更したため、参考値として使用しております

》》 主要なグループ生産拠点



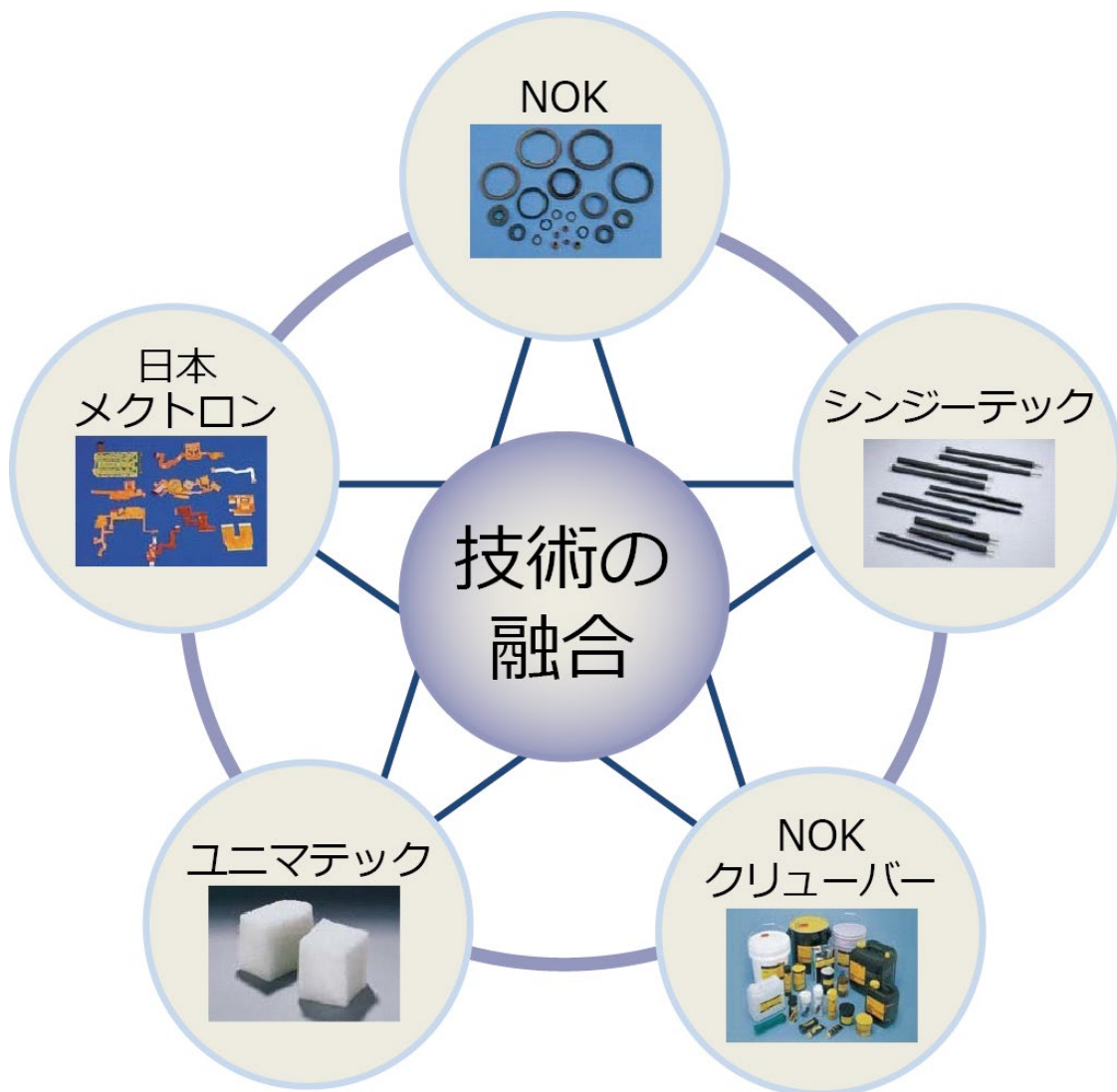
Japan



North America



- NOK株式会社
- 日本メクトロン株式会社
- シンジーテック株式会社
- NOKクリューバー株式会社
- ユニマテック株式会社



NOKグループ各社は、コア技術が融合しあう企業集団として、一企業の各部門の関係のような《複合技術メーカーグループ》を形成しています。それぞれが個性と誇りをもって同じ夢に向かい、あらゆるニーズに応える事業を展開しています。



湘南開発センターは、NOKのあらゆる先進技術を集約させ、開発スピードを上げることを目的に設立されました。部門間の垣根を取り払い、製品設計から出品検査までを一貫して行う自己完結型の開発体制を整えています。研究開発および生産技術の融合を積極的に進め、他にまねのできない独自の最新技術、製品を誕生させています。

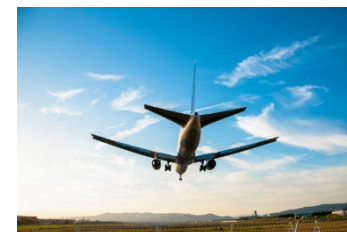
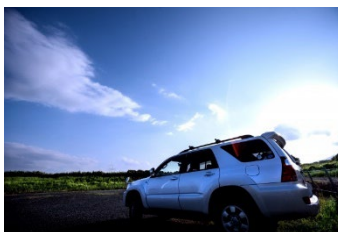
POINT

あらゆる最先端技術が結集した「頭脳」拠点となり、**世界No.1の技術創出**に挑み続けるNOK湘南開発センター。材料技術・評価解析技術、生産技術の機能を有する、自己完結型の業務遂行可能なセンターとなっています。NOKは、社会からの要求に応え、生活の利便性や環境に貢献できる製品を世に送り出すため、更なる技術開発に取り組んでまいります。

》 NOKの主要製品：オイルシール

オイルシールとは、オイル（油）をシールする（封じる）機能部品です。回転や上下動など、機械の“動く”部分において、潤滑油をはじめ、水、薬液、ガスなどが漏れるのを防ぐと同時に、外部からのほこりなどの侵入を防ぐ働きをしています。車、船、飛行機、エアコン、洗濯機、水道などに使用され、幅広い機械類で不可欠な部品になっています。

（使用例）



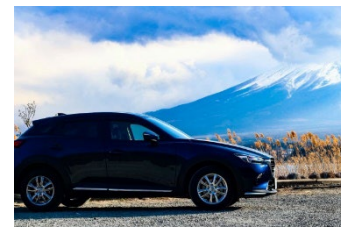
POINT

NOKの歴史はオイルシールの歴史です。日本でNo.1のオイルシールメーカーへの発展の礎は、1960年、西ドイツ(当時)のカール・フロイデンベルグ社との技術提携に始まります。その後、日本の自動車メーカー1社のみが進出しているだけの時代に、いち早くアメリカに生産工場を置き、BIG3(ビッグ3)にオイルシールを供給するに至りました。今日、信用と実績を認められ、**国内70%、世界トップシェア**を誇ります。

》》 NOKの主要製品：フレキシブルプリント基板

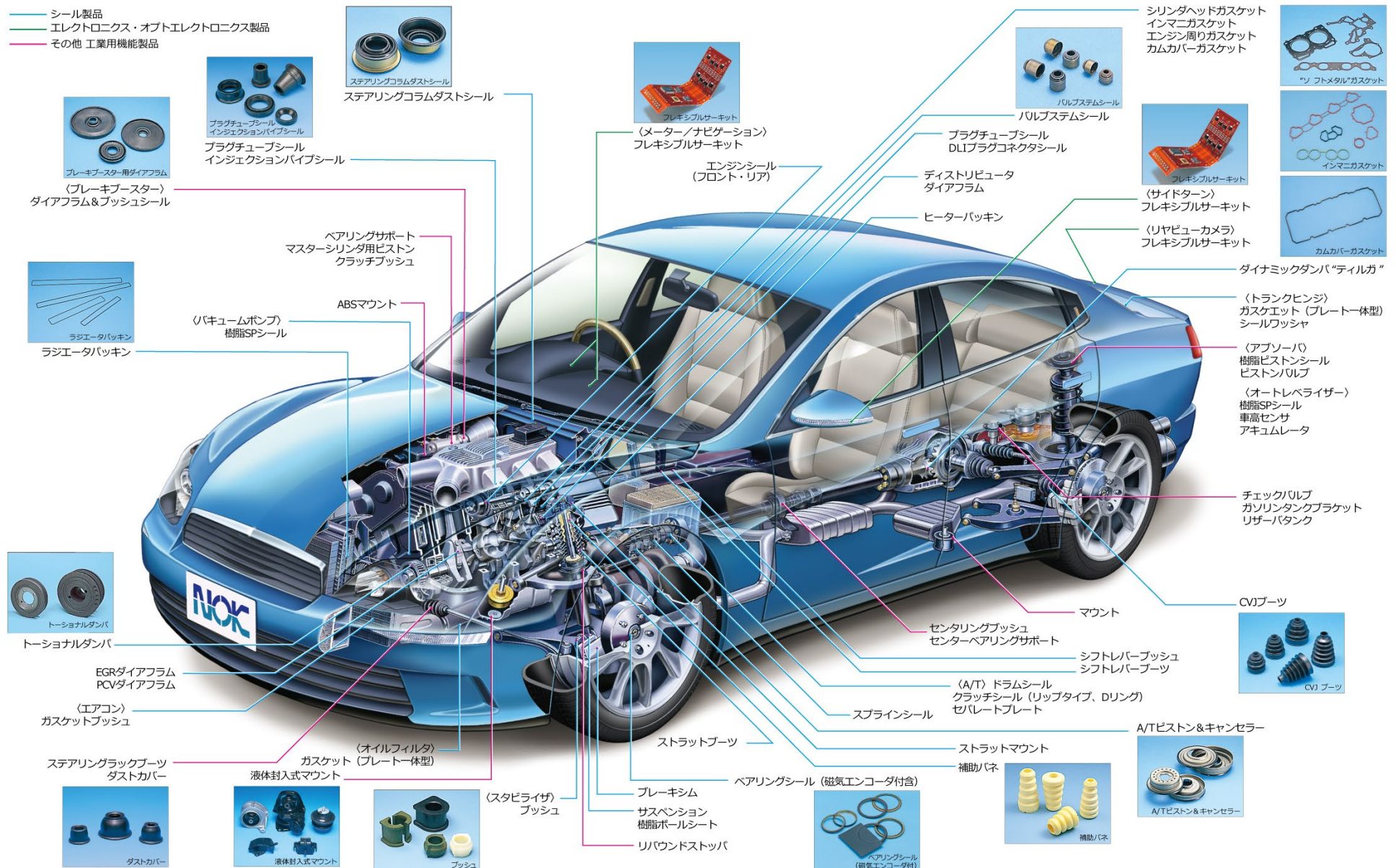
フレキシブルプリント基板（FPC）は、フィルムをベースとした柔軟性のある回路基板です。このFPCという機能部品のおかげで、コンパクトで高機能なスマートフォンが実現しました。その用途は、スマートフォンに留まらず、HDD、デジタルカメラやタブレットPCなど多岐にわたります。

（使用例）



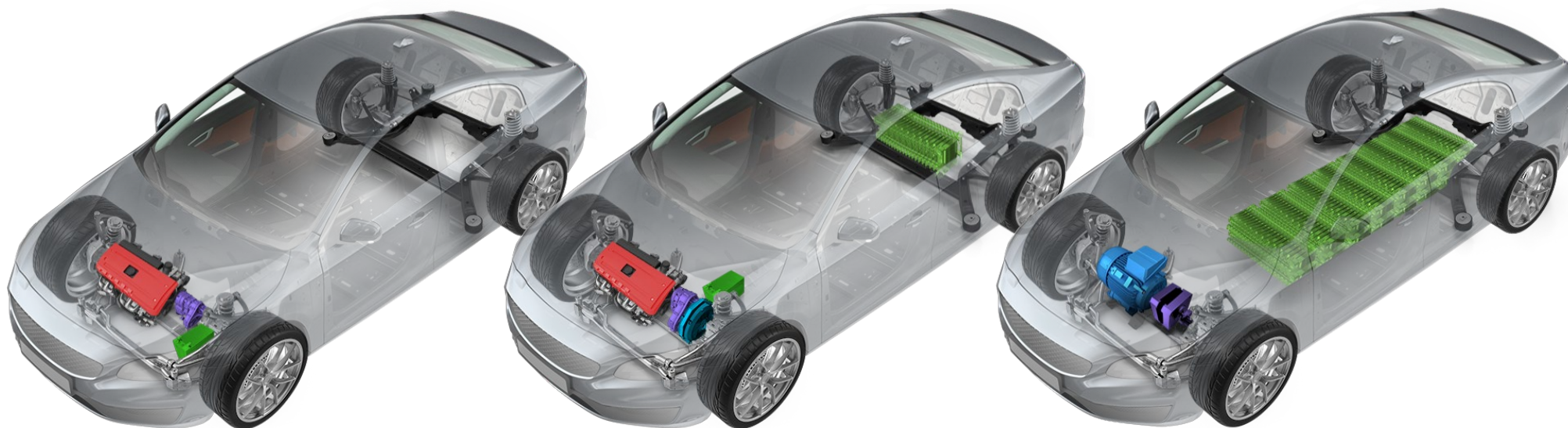
POINT

NOKのグループ会社である、日本メクトロンのエレクトロニクス事業です。薄く、柔軟性のあるこの回路基板が、スマートフォンなどに使われています。薄く、軽く、柔軟性があるという特性をもつフレキシブルプリント基板は、今後ますます機能の向上が期待されています。**国内シェア、世界シェアともにトップクラス**です。



次世代自動車への採用

ハイブリッド、電気自動車等の次世代自動車にも弊社製品の採用が進んでおります。



ハイブリッド自動車

- エンジン用シール
- モーター用シール
- バッテリー用シール
- 自動車用FPC

プラグインハイブリッド自動車

- エンジン用シール
- モーター用シール
- バッテリー用シール
- 充電器用シール
- 自動車用FPC

電気自動車

- モーター用シール
- 自動車用FPC
- バッテリー用シール
- 減速機用シール
- 充電器用シール



電動車に使われるNOK製品

電動車向けにも様々な製品ラインナップを取り揃えております。

Tran-Qラバー



導電ラバーリング



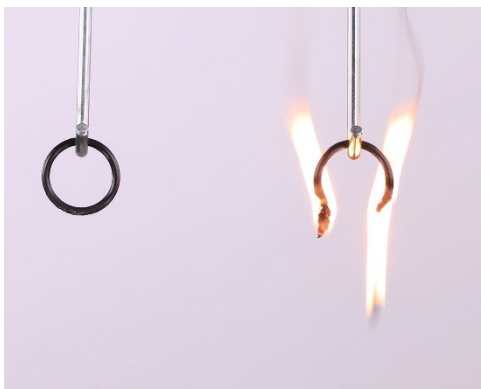
高速回転シール



RUSTECTOR (ラステクター)



Fla(m)tecton(フラテクター)



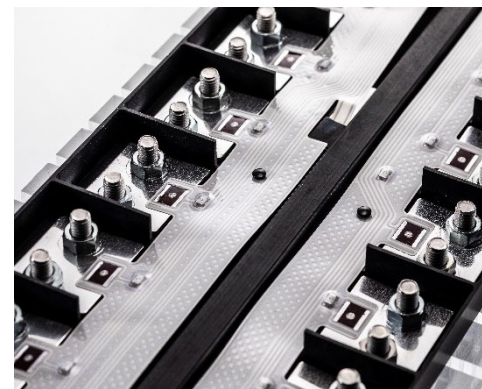
Le-μ's (レミューズ)



GlideX™

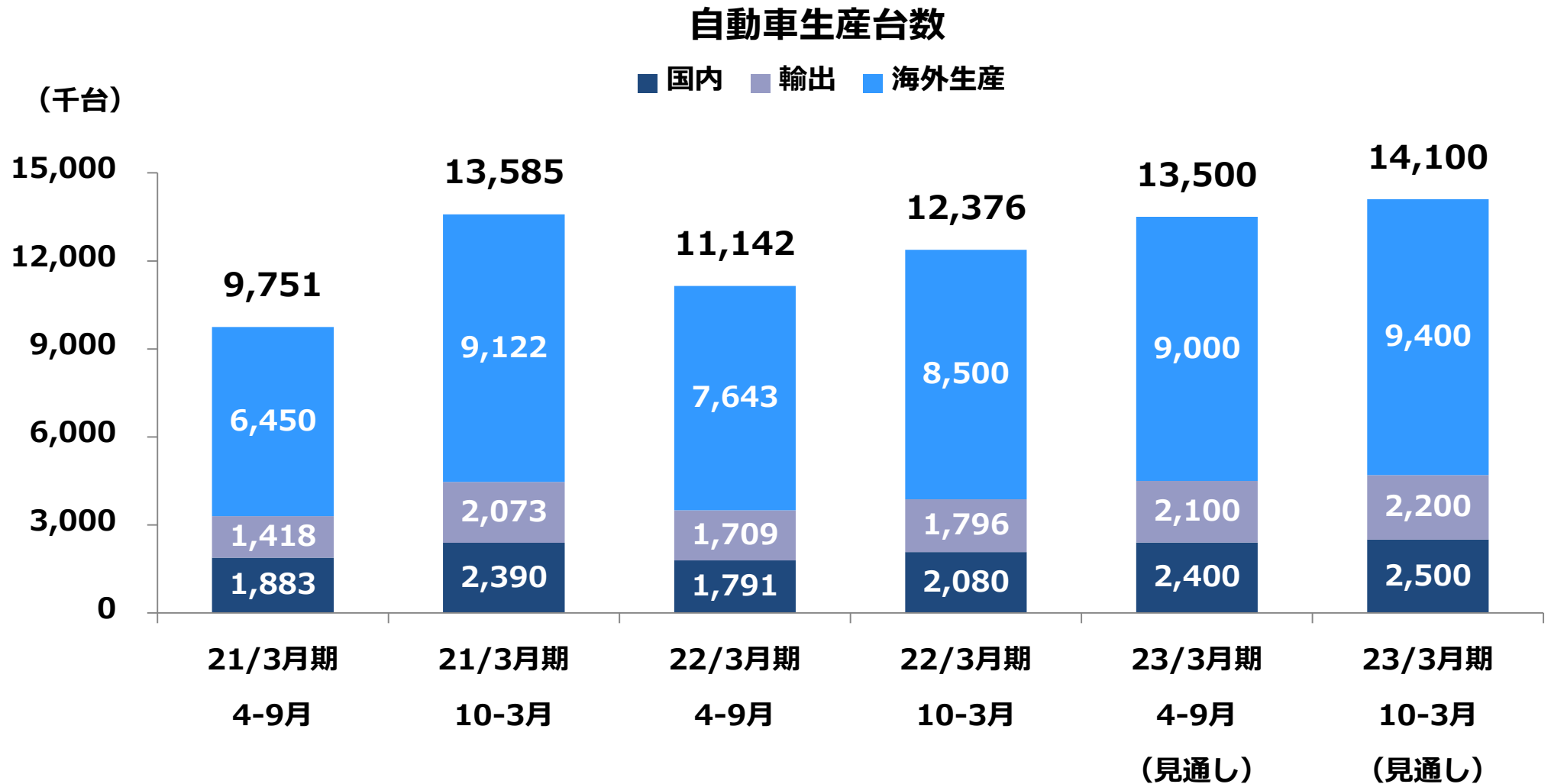


自動車用FPC





業種別市場動向：自動車生産台数推移（半期）



※海外生産は、ノックダウン台数に海外で生産される完成車台数を付加したものです

出所：NOK推定



NOK製品が使われている一般産業機械

一般産業機械分野では建設機械やロボットをはじめ、様々な分野に弊社製品が使われています。

建設機械



ロボット・工作機械



発電設備等



農業機械



工場・プラント設備

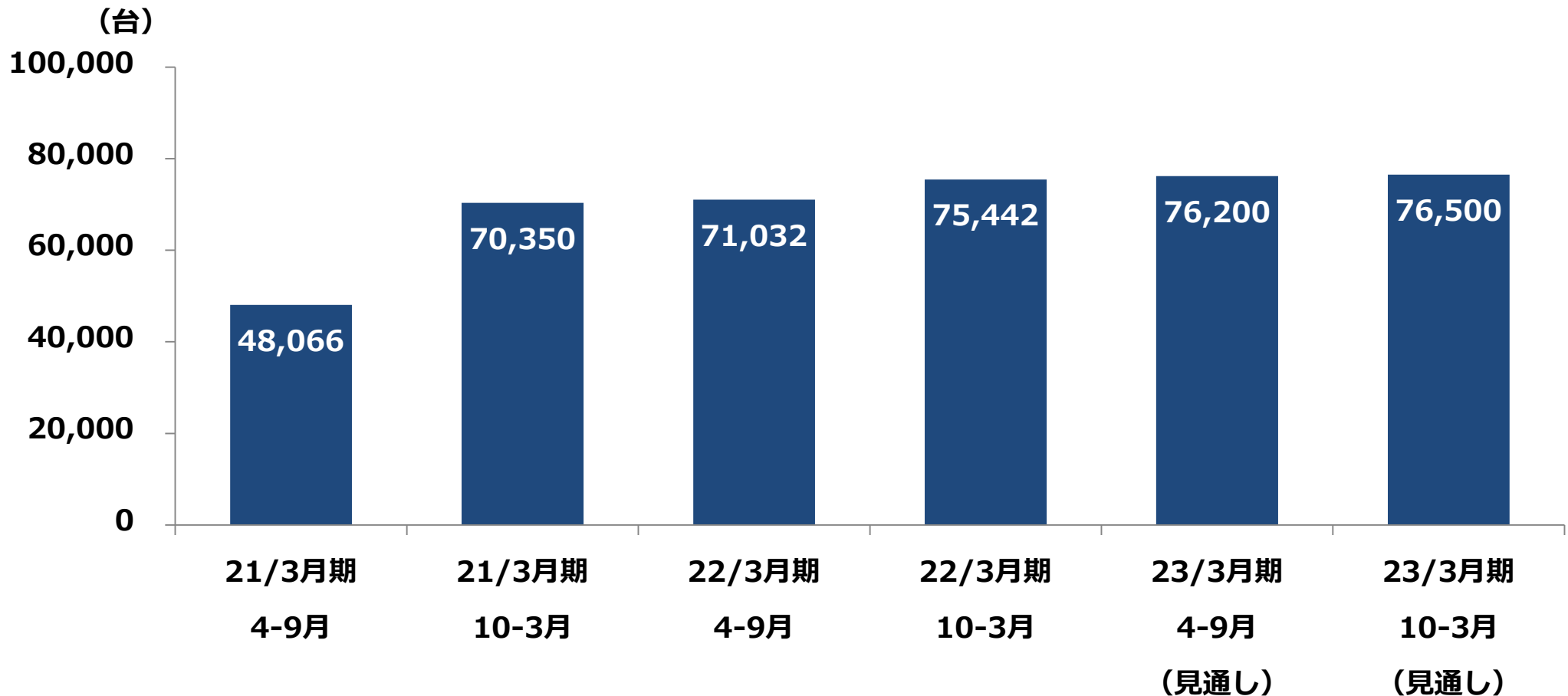


鉄道



業種別市場動向：建設機械国内生産台数推移（半期）

建設機械国内生産台数



出所：NOK推定



情報電子機器でみるNOK製品



世界でトップクラスのシェアを誇るフレキシブルプリント基板（FPC）は、最先端の電子機器に幅広く使われています。また、高度な技術によって作られた多層フレキシブルプリント基板（フレクスボード）は、情報電子機器の小型・高性能化に欠かせない存在となっています。

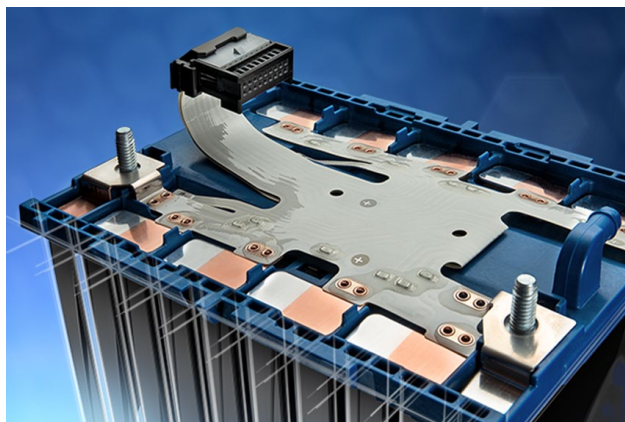
》 自動車に使われるフレキシブルプリント基板

自動車の電子化、電装化により、フレキシブルプリント基板の用途が拡大しています。

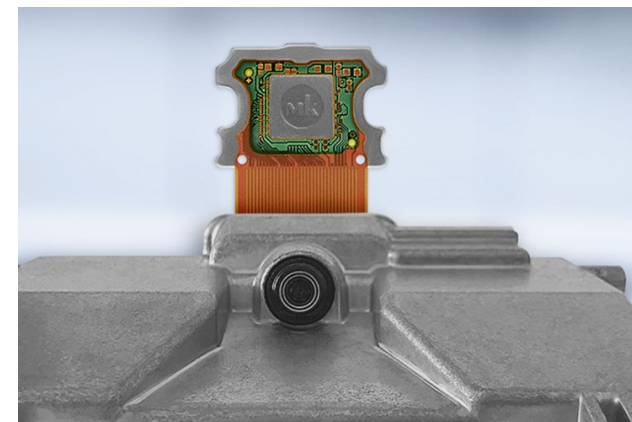
センサー



バッテリー



ADAS



ADAS: Advanced Driving Assistance Systems

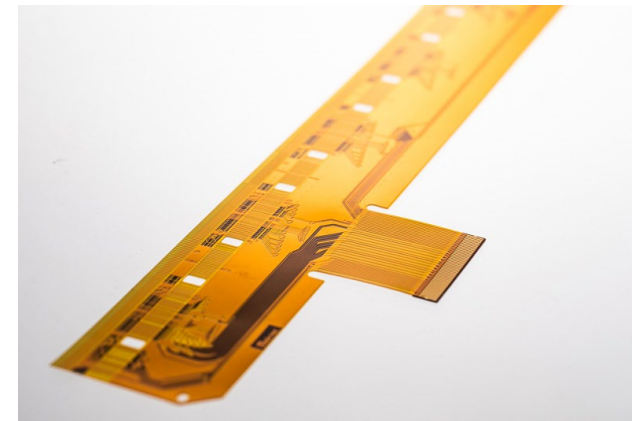
スイッチ



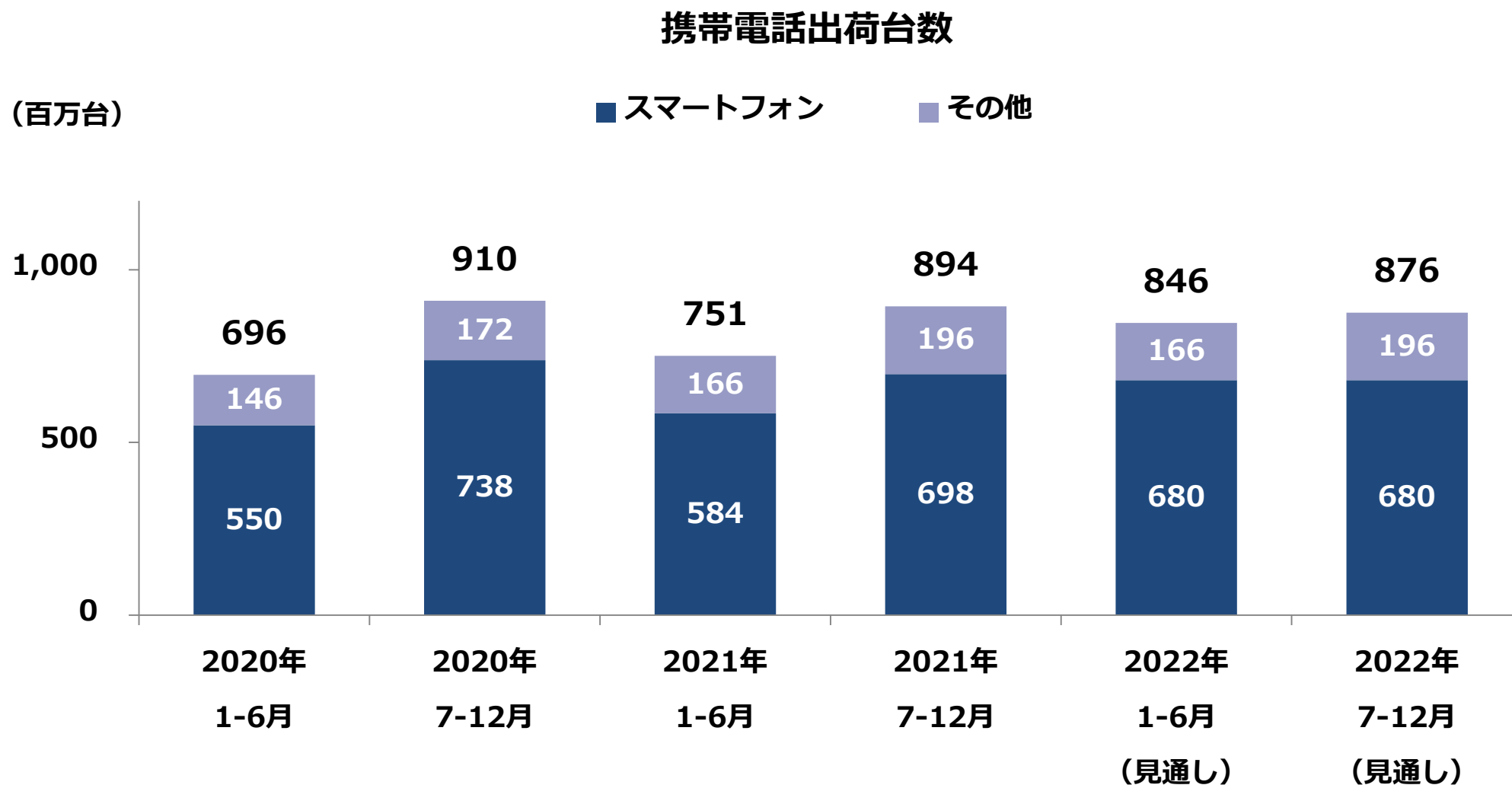
ライト



インフォテインメント



業種別市場動向：携帯電話出荷台数（半期・暦年）



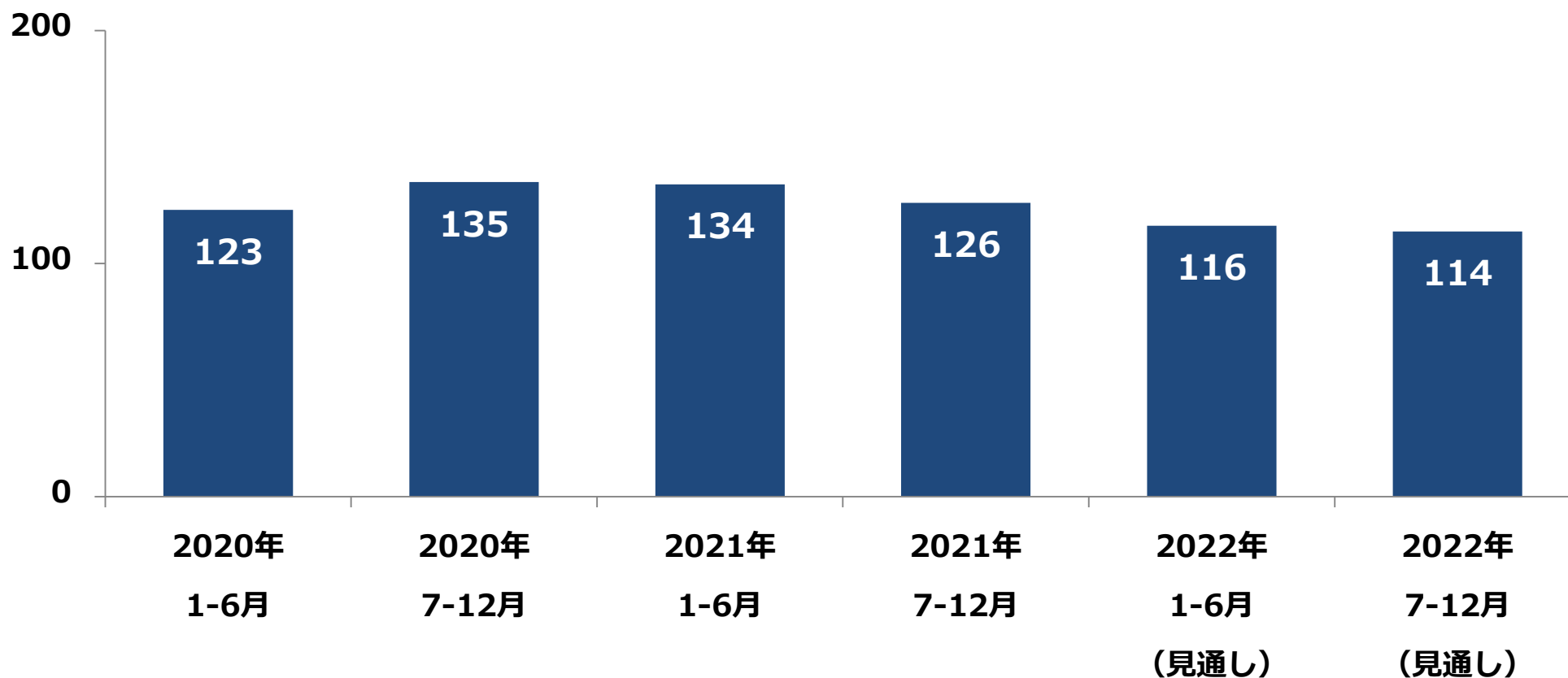
出所：NOK推定



業種別市場動向：HDD生産台数（半期・暦年）

HDD生産台数

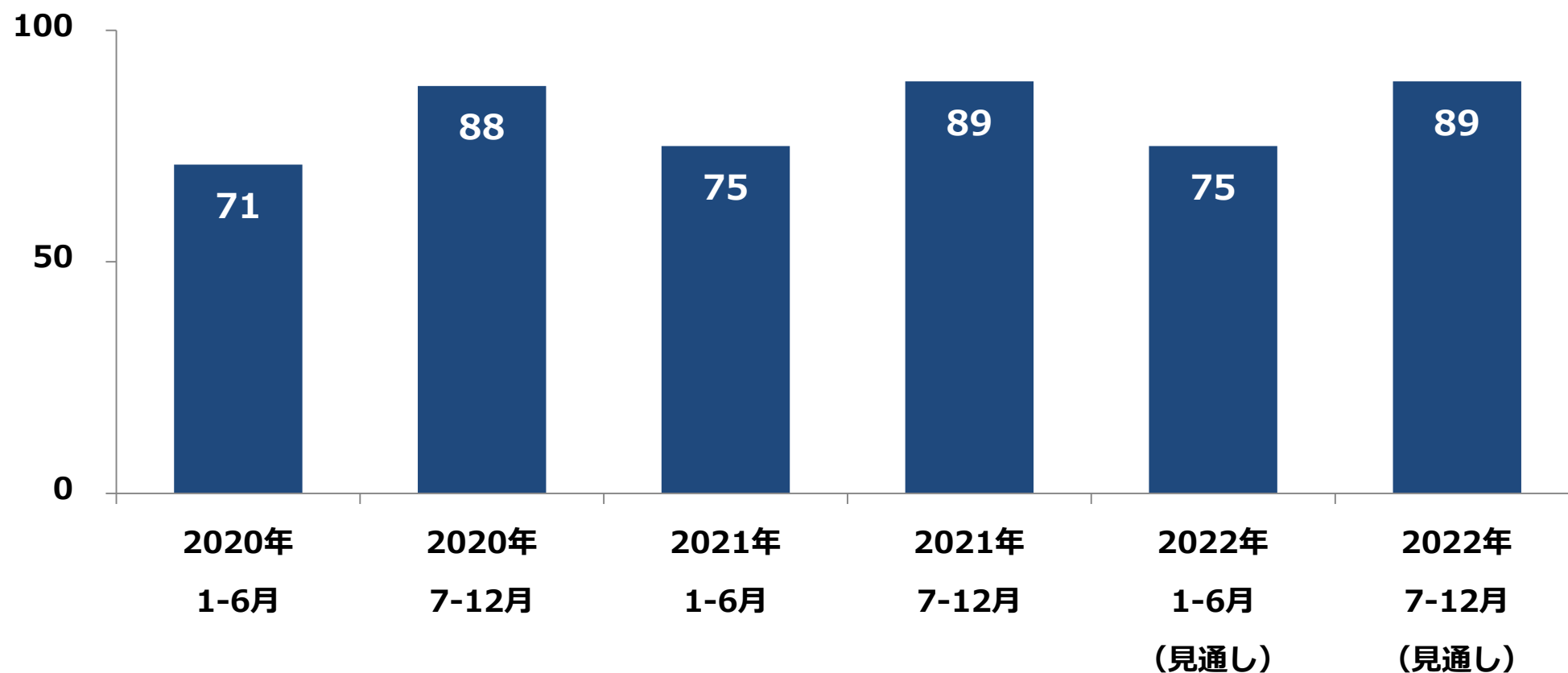
(百万台)



出所：NOK推定

タブレットPC出荷台数

(百万台)



出所：NOK推定

セグメント(事業区分別)情報 2022年3月期実績、並びに2023年3月期見通し

(単位:百万円)

事業区分	項目	2022年3月期 実績				
		上期	下期	通期	前年同期比	伸び率
シール	外部売上高	165,342	170,847	336,189	43,166	14.7%
	セグメント間売上	1,121	1,186	2,308	372	
	売上高	166,464	172,034	338,498	43,539	
	営業利益	18,257	17,224	35,482	12,298	53.0%
	利益率	11.0%	10.0%	10.5%	2.6pt	
	資本的支出	8,451	10,810	19,261	5,608	
	減価償却費	11,763	11,855	23,619	△260	
	人員(生産性)(人)	21,080	20,996	20,996	△124	

2023年3月期 見通し						
上期	前年同期比	下期	前年同期比	通期	前年同期比	伸び率
183,000	17,657	193,000	22,152	376,000	39,810	11.8%
1,382	260	1,348	161	2,730	421	
184,382	17,917	194,348	22,314	378,730	40,231	
12,500	△5,757	17,500	275	30,000	△5,482	△15.5%
6.8%	△4.2pt	9.0%	△1.0pt	7.9%	△2.6pt	
15,385	6,934	14,478	3,667	29,863	10,602	
12,169	405	12,796	940	24,965	1,345	
21,364	284	21,442	446	21,442	446	

電子部品	外部売上高	146,096	174,846	320,942	39,171	13.9%
	セグメント間売上	10	6	17	1	
	売上高	146,106	174,852	320,959	39,172	
	営業利益	△3,995	△1,044	△5,040	3,331	—
	利益率	△2.7%	△0.6%	△1.6%	1.4pt	
	資本的支出	8,288	12,089	20,377	8,943	
	減価償却費	8,748	9,269	18,018	2,306	
	人員(生産性)(人)	14,754	14,548	14,548	△362	

172,700	26,603	182,700	7,853	355,400	34,457	10.7%
—	△10	—	△6	—	△17	
172,700	26,593	182,700	7,847	355,400	34,440	
△1,700	2,295	200	1,244	△1,500	3,540	—
△1.0%	1.8pt	0.1%	0.7pt	△0.4%	1.1pt	
15,660	7,372	17,103	5,013	32,763	12,386	
9,166	417	9,359	89	18,525	506	
15,162	408	15,020	472	15,020	472	

その他	外部売上高	12,930	12,445	25,375	3,800	17.6%
	セグメント間売上	263	260	524	31	
	売上高	13,193	12,706	25,899	3,831	
	営業利益	601	292	893	1,255	—
	利益率	4.6%	2.3%	3.5%	5.1pt	
	資本的支出	607	783	1,391	749	
	減価償却費	474	478	953	△124	
	人員(生産性)(人)	2,001	2,069	2,069	100	

13,300	369	13,300	854	26,600	1,224	4.8%
300	36	300	39	600	75	
13,600	406	13,600	893	27,200	1,300	
700	98	300	7	1,000	106	11.9%
5.1%	0.6pt	2.2%	△0.1pt	3.7%	0.2pt	
849	242	854	70	1,704	312	
525	50	556	77	1,082	128	
2,160	159	2,158	89	2,158	89	

内部売上高の消去	△1,395	△1,454	△2,850	△405	
----------	--------	--------	--------	------	--

△1,682	△286	△1,648	△194	△3,330	△480	
--------	------	--------	------	--------	------	--

連結	外部売上高	324,368	358,139	682,507	86,138	14.4%
	セグメント間売上	—	—	—	—	
	売上高	324,368	358,139	682,507	86,138	
	営業利益	14,868	16,468	31,337	16,869	116.6%
	利益率	4.6%	4.6%	4.6%	2.2pt	
	資本的支出	17,346	23,683	41,030	15,301	
	減価償却費	20,986	21,604	42,591	1,922	
	人員(生産性)(人)	37,835	37,613	37,613	△386	

369,000	44,631	389,000	30,860	758,000	75,492	11.1%
—	—	—	—	—	—	
369,000	44,631	389,000	30,860	758,000	75,492	
11,500	△3,368	18,000	1,531	29,500	△1,837	△5.9%
3.1%	△1.5pt	4.6%	0.0pt	3.9%	△0.7pt	
31,896	14,549	32,435	8,752	64,331	23,301	
21,860	873	22,711	1,106	44,572	1,980	
38,686	851	38,620	1,007	38,620	1,007	

※上記の見通しは現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

※百万円未満を切捨て表示しています。



お問い合わせ先

NOK 株式会社 業務本部 広報部

E-mail: ssato@nok.co.jp

URL: <https://www.nok.co.jp/>